京城日報

八日夕刊

定價 一部金二錢五厘 一ヶ月金六十五錢 郵送料共
廣告料 五號活字一行金五拾錢
發行兼編輯人 奥田直毅
印刷人 小川三之介
發行所 京城太平通二丁目 合資會社 京城日報社

支那側多少の讓歩
鄭家屯事件と國務院會議

六日國務院會議は鄭家屯事件交渉に就き伍廷芳總長より四日林公使の申出に關し詳細説明を爲し如何に回答すべきやに就き種々論議したる結果多少讓歩して再交渉を爲すに決せりと(北京特電)

國務省と第二回通牒

華盛頓來電―國務省の陳述する所に依れば大統領ウヰルソン氏は第二回の講和通牒を發送せん事を考慮し居らずと(紐育電報)

上院の通牒贊成否決

華盛頓來電―米國上院は三日に亙る討論の後終に大統領の通牒贊成の動議を否決し翌に大統領が講和條件の提出を求むるに贊成を表せる共和黨の決議案を採用せり(紐育電報)

未曾有の大軍事會議

英國首相ロイド、ジョージ氏の羅馬到著は大に世間を騷がしたり佛國側の代表者中には首相ブリアン氏陸相リオーテー將軍兵站大臣トーマス氏あり又パーリアメント將軍は露國を代表せり今回の會合は未曾有の大軍事會議となるべく此の重大會議地として羅馬の選定せられし事實は羅馬市民の大に歡迎する所なり英國首相ロイド、ジョージ氏は既に羅馬市民に大人望あり今回の羅馬會議は聯合國が絶對的に和合を爲せる事を全世界に最も明確に立證せるものと見做さる(紐育電報)

英國大公債の發行

英國政府は這回二百億圓の大公債を發行す可く英蘭銀行は之れが爲め臨時取扱所を新設せり(路透電報)

諸株相場堅實

株初立合氣配は強固にして諸株の相場堅實也(東京電報)

大元帥御閲兵

大元帥陛下には八日觀兵式に臨御午前十時二重橋前に於て大觀兵式を行はせらる天氣晴朗にして一片の雲翳を認めざるも寒氣強し(東京電報)

赤塚總領事通過

新任奉天總領事赤塚正助氏夫妻は八日朝入港の聯絡船櫻丸にて釜山著同十時卅分發列車にて北行せり(釜山特電)

政務總監列席

山縣政務總監は八日午後六時三十分遠藤秘書官藤波通譯官を隨へ官邸出門朝鮮ホテルに開催の美濃部鮮銀總裁招待宴に臨めり

陸軍始觀兵式

八日午前十時より龍山練兵場に於て陸軍始めの觀兵式を擧行したり參列諸隊は步兵第七十八聯隊の全部、騎兵第二十七聯隊第三中隊、野砲兵第二十五聯隊第二大隊第六中隊並に朝鮮步兵隊にて諸兵指揮官第十九師團長立花小一郎中將指揮の下に駐劄軍司令官秋山好古大將の閲兵あり右終て分列式を行ひ十時卅分終了したるが寒氣嚴烈朔風颯々たる裡に整然たる各隊の動作軍樂の吹奏あり陸軍正裝の劍光帽影參差として光景莊嚴を呈したり尚ほ軍司令部よりは白水參謀長外各幕僚師團司令部よりは岡本參謀長外幕僚憲兵隊司令部よりは古海課長外各部附憲兵隊長陸軍中將山形憲兵大佐總督府より高橋武官等も參列並に陪觀し各部隊初年兵並に在鄉軍人は觀兵式を見學したり

陸軍官衙休業

八日は陸軍始めに付駐劄軍司令部を初め陸軍諸官衙は何れも休業せり

政府委員任命

十二月二十五日附を以て左の通り任命ありたり

朝鮮總督府政務總監 山縣伊三郎
朝鮮總督府度支部長官 荒井賢太郎
朝鮮總督府參事官 秋山雅之介
朝鮮總督府事務官 河內山樂三
內務省所管事務政府委員被仰付(各通)

御料煙草獻納

畏き邊りの御思召に依り總督府專賣課に於て謹製したる朝鮮產紙卷煙草は舊臘入見專賣課長捧持東上し總督府東京出張所大城戶囑託の手を經て年末無事宮內省に獻納の手續を了したる旨同囑託より報告ありたり

辭令

四日附を以て左の通り辭令ありたり

朝鮮總督府臨時土地調查局監查官 谷本貞幸
同 高田長豐
同 吉田英三郎
依願免本官
朝鮮總督府臨時土地調查局監查官 谷本貞幸
五級俸下賜
朝鮮總督府鐵道局技師 河內明輝
依願免本官
山口信正
荻昌總
川西文夫
朝鮮總督府司法官試補を命ず
年俸六百圓下賜(各通)

荒井長官發期

朝鮮總督府豫算說明の爲め政府委員として第三十八議會に臨席す可き荒井度支部長官は十五六日頃出發東上の筈なり

秋山氏東上期

政府委員として今期議會に臨席の筈なる秋山參事官は十日頃京城出發東上す可し

關屋局長歸期

兵庫縣住吉に靜養中なりし關屋學務局長は宿痾全癒したるを以て一月中旬同地を引き上げ歸任す可き旨本府に通知ありたり

京城中學入學試驗

京城中學校にては來る四月一日入學せしむ可き第一學年生徒百五十名の入學試驗を來る三月五日より三日間同校に於て執行することに內定し居れり本年の志願者は約五百名に達する見込なるが若し同樣にて不合格となる者も倚平壤釜山及び今年より大田中學校にても約百名の生徒を募集することゝなり居れば此方面にての受驗手續を爲し置くもよかる可く更に不合格の場合は內地中學校の試驗を受くる餘裕ありと

鐵道局員の昇給

鐵道局にては今回總務課書記池田盛國氏以下判任官百二十名の昇給を行なひ同時に遠山南川土城水色驛、安谷驛長の異動を發表したり

稻垣工務課長歸任

鐵道局工務課長稻垣甚氏は舊臘より內地へ旅行中なりしが七日夜歸任せり

山本牧師嚴父危篤

組合教會牧師山本忠美氏嚴父常磐氏(七六)は同氏の鄉里なる山梨縣巨摩郡西條村にて發病危篤の旨七日電報ありたれば山本氏は八日午後七時五十分南大門發にて同地へ急行す

赤根谷氏出發

總督府總務局の速記者赤根谷友二郎氏は今回官命を帶し臺南に赴くことゝなり來る十一日午後七時五十分南大門發にて任地に赴く可しと

連絡船缺航と郵便物

八日朝下關發同夜釜山著の連絡船對馬丸は缺航せるを以て郵便物其他一日延著すべし

歲末年始の鮮鐵

歲末及び年始に於ける鮮鐵の輸送狀況を聞くに逐日の成績左の如く流石に大晦日並に元日より三日迄は半日の半輸內外にて閑散を極めたり而して元日に於ける貨物收入は僅々一千七百八十五圓三日三千八百十八圓に過ぎざりしと

日次	收入	日次	收入
二八	三一、五三六圓	一	一一、三二六圓
二九	三一、二一八	二	一九、八五三
三〇	二五、八四八	三	一五、六七七
三一	二二、五八一		

九州行貨制限

鐵道院にては當分の間從前同樣本州線行き貨物の輸送量を一日五百五十噸に制限し居る爲め鐵道局は鮮鐵全線に於ける本州行き貨物一日の受託十車と定め釜山堆貨の緩和に努力しつゝあるが一方九州線並に下の關行きは貨物船弘運丸の休航並に托送申込漸減の傾向にある爲め八日以降當分鐵道局發及び局線經由並に釜山發に對する鐵道院線の輸送力は一日三百噸に改定し乃ち從來の六百噸に比すれば半量に制限したり

弘運丸の休航

下關釜山間に於ける貨物輸送の爲め昨年十二月初めより就航したる鐵道院所屬貨物船弘運丸は本州行き貨物輸送の制限依然として緩和し下の關行き九州方面行き貨物も一段落附きたるを以て十二月末限り休航することゝなれり

京城電氣增資

京城電氣株式會社にては二十三日午前十時より東京麴町區有樂町生命保險協會に於て第十七次定時株主總會を開き大正五年度後半期に於ける決算案を附議し終つて同社增資案を提出するものなるが內容は現在資本金六百萬圓を九百萬圓に增加するものにて新株は別に公募せず大正六年三月一日現在株主の持株一株に付新株一株を割當つべしと

有望なる鰤漁

仁川近海に於ける冬期間に於ける朝鮮の漁業は南鮮地方に於て多少の從漁者あるのみにして其他は殆ど漁獲無き狀態なるが爲めに魚類の供給は需要の一部をも滿たす能はず延いては魚價の暴騰を來しつゝあり此れが爲めに近時總督府及び有力なる漁業家は冬期間中の漁場探檢を企て以て一般需要家の渇を醫やし從漁者の富源を開發せんと計畫しつゝ有るも未だ豫期の成績を擧ぐる事を得ざる者の如し

▲有望なる鰤漁 然るに漢江の口及び仁川近海に於ては氣溫の高低潮流の關係上結氷期間中は魚類の來襲殆んど無く時に臨んで反つて釜山方面より魚類の供給を受くるが如き有樣なるを以て久しき以前より近海に棲息せる鰤の漁獲を獎勵し以て其の缺を補はんとしたりしが其の結果同漁業は年と共に發達して今や冬期間中に於て三十萬圓以上の水揚をなし從漁者の經濟上に一大革命を與ふるのみならず京仁間及び沿線に於ける鮮魚の供給上大なる貢獻をなし且つ斯く此れが漁法の進步發達を促しつゝ養殖を企てなば朝鮮に於ける冬期間の鮮魚の缺乏を充分に補ひ得るに至る可し

▲鰤漁法の種類 鰤漁法には二種あるが一は朝鮮古來の漁法にて衞王の御料に獻する爲めに從漁したる者にして網は絹絲を以て製したる刺網なるが漁獲は漸次減少し近來は原料騰貴し加ふるに近年漁業者激增したるを以て漁獲高の比にあらず鮮人漁夫は何れも經濟的の壓迫を蒙り日に衰頽の域に進みつゝ有るが然も現存の從漁者は數十を數へつゝあり他は內地より渡來したる鮟鱇網漁法にして同漁業は始めは單に沿海に於て石首魚等の漁獲に從事し居たるも其後鮮人漁夫が鰤漁をなすを知り冬期中の飲食費を獲れば足れりとし試みに從漁したるに計らんや非常の大豐漁に遭ひ始めて鰤漁獲の有利なるを知りたる者にて其の沿革發達は極めて最近の事に屬し其數も未だ五艘乃至十數艘に過ぎざるの狀態に在り(未完)

態度の強硬を聲明

聯合國政府各大臣は羅馬會議を開き聯合國の步調を一致し態度の強硬を聲明せり(紐育電報)

獨逸講和提議の因

獨逸の講和提議は食糧缺乏の結果產業危機に在るを暴露し擧國恐怖せるに因るものなりと(紐育電報)

鐵道滯貨漸增

鐵道院各線の滯貨益々增加一方なり(東京電報)

地方官小更迭

京都府內務部長堀田貢警視廳警視丸山鶴吉內務省書記官田子一民の三氏歐米派遣と共に之が補缺の爲近く地方官に小更迭行はるべし(東京電報)

滿鐵製麻計畫

滿鐵會社にては製麻會社を創設し製麻事業經營の計畫進行中なりと(東京電報)

新春の大阪より
青霞生

○元旦の大阪は曇天にて正午頃細雨到り寒氣頗る凛烈なるを覺ね候、賀客は年々減ずるも賀狀は年と共に加はり朝來自轉車にて配達致候、郵便の自轉車配達は大阪が嚆矢に候、新春最も樂みを感ずるは遠近の知友親族等の安否を賀狀によつて知る事に候、年賀を虛禮として卻くるは敦厚の美風を失ふものに候、虛禮にもせよ一片の賀狀久しき舊交を溫むるを得ば之ほど廉なるはなく候。

○朝來初火事あり、酒に醉ふて失火を知らざりしと云ふ泰平の餘澤も爰に至つては香氣過ぎ申候、午後二時頃京阪電車にて懷かしき京の新春を訪はんとし用務積堆し來り終に果さず、然るに同時に發せし電車は枚方にて大衝突をなし、四十餘名の重輕傷者數名の危篤者を出し候、原因は運轉手の酩酊によると聞及び候記者の命冥加を悅ぶと同時に酒の祟りの恐ろしきに寒心致候、電車の覆へるを見て後車の戒めとは之が謂ひに候べし。

○二日は空晴れ寒けれども風靜かに路上新裝の少女が追羽子の音も聞ゆ候、五六百公運轉せる市電は悉く滿員の盛況、道頓堀の春は五座の櫓の梵天にひらめき彩旗は軒より軒に縱橫し、千日前ルナパーク其他の盛場は非常の人出にて夜に入りて雜沓を極め候、浪花座は例の鴈治郎延若一座一番目は御大の出しもの『宗行卿』二番目が延若の『大杯』馬場三郎兵衞新作『三勝半七』所作事『歌仙の彩り』大江戶看板は金森觀陽齋伯を頻りに人目をひき候。

○中座は曾我の家角座は山長朝日座は活動辨天座は卯三郎文樂は越路の『堀川』津の『陣屋』南部の『中將姬』近松座も遂に松竹の手に入り、呂昇の淨瑠璃何れも大入滿員を聞ね候、道頓堀に近來歐を增したるものはカフエーバーにて、五色の瀟灑など凄まじき背景のものも見受け候。

○三四兩日市岡の廣場にてスチンソン孃の飛行有之其妙技驚くに堪へたるものに候、二十歲の纖弱なる女の身にて寒天に男子も及ばぬ離れ業は只々驚嘆の外なく、日本の飛行界を顧みて轉た痛嘆を感じ申候。

○四日の北濱堂島兩初相場は大阪の名物にて、殊に堂島は古風を捨てず各仲買店の軒先注連門松の間に印提灯をかけ連ね各所に篝火を焚き午前二三時頃の霜に凍てたる街路を漸次客の蟻集し來り、各店の酒間を白襟の藝妓が斡旋するなど景氣よきものに候、五時立會開始、場中は御祝儀相場の女も交りて紅葉とりどりの色彩を見せ、理事長の挨拶に次で場立あり、電燈の消ゆる頃立會を了り候

○北濱の株式取引所立會は堂島の了る頃開始され申候、戰亂の餘波熱狂相場を現じ、成金の簇生黃金の海嘯が寄せたりと云はれたる相場も、年末の講和風の襲來に忽ち暴落、昨日の成金は今日の步となり榮枯地をかへ候事宛ら夢の如くに候、いづれ新春以後の投機界は漸々波瀾重疊、何人が北濱の覇者として唄はるゝか刮目するに足る次第に候(大阪支局にて)

仁川

▲楠野府尹上京 仁川府尹楠野は十日上京、新任挨拶旁々前府尹久水外事課長を訪問事務打合をなす可し

群山

▲客月貿易 群山港十二月中輸移出入貿易狀況を聞くに輸移出重要品にては米穀九十六萬八千八百十七圓大豆三萬零百五十圓牛皮一萬八千九百七十八圓棉花一千六百八十圓等にして其他合計總輸移出價額百零二萬八千七百四十二圓に達し輸移入重要品にして價額五千圓以上に上りたるは小麥粉五千零七十圓果實及核子六千九百二十八圓鮮魚五千零十五圓砂糖七千三百五十六圓清酒五千五百七十三圓綿織絲一萬五千三百三十三圓生金巾及びシーチング六萬六千四百二十七圓晒金巾及び晒シーチング一萬一千二百二十九圓陶器及び磁器七千八百九十二圓叺及び莚五千二百廿五圓マッチ七千六百五十三圓等にして其他合計總輸移入價額二十六萬四千七百二十五圓なり

▲客月檢米 群山米穀檢查所に於ける十二月中檢米成績を聞くに上格米六千百六十五叺及び三千袋下格米十五萬八千三百九十一叺禁止米七千二百五十九叺等なりしが前記三千袋は外國輸出米なりし

▲名刺交換會 群山府廳發起に係る新年名刺交換會は例年の如く一月一日群山公立小學校大講堂に於て開催せられ出席者三百餘名頗る盛會なりし

▲訓導榮轉 群山公立尋常高等小學校訓導大多和佐氏は全州郡參禮小學校長に榮轉し三日當地出發赴任せり

平壤

▲實業青年會總會 平壤實業青年會にては一月七日正午櫻町料亭武藏野に於て總會を兼ね新年宴會を開催したるが大橋會長以下役員會員五十餘名參會會長幹事等の改選當番幹事の會務報告中根會計の會計報告ありて後酒宴に移り歡談暢話午後三時大盛況裡に散會したり因に會長以下の役員は再任することとなりたり

人事消息

▲小倉寄七郎氏夫妻 七日午後內地より入京朝鮮ホテルへ
▲朴箕陽男 七日午後木浦より歸京
▲朝倉外茂鐵氏(辯護士) 七日夜東萊より歸京

泰詠遠山雪　清津 一番ヶ瀨

白山峯雪勢崢嶸。擁麓同雲挾莽橫。色連天九軌合。寒光照地四區明。宸妃琴舞降瑤闕。皓鶴翩翩朝玉京。日上扶桑霞曙映。歲成當氣向東瀛。

近江人各位に告ぐ

本會新年宴會左記の通り開催可致候間萬障御繰合せ御出席相成度此段謹告候也

日時 一月十三日午後六時
會場 南山町 千代本
會費 金三圓當日御持參の事
申込所 南大門通共益社內 本會事務所
申込期日 一月十二日中

一月八日 近江人會幹事

[illegible]

大募集

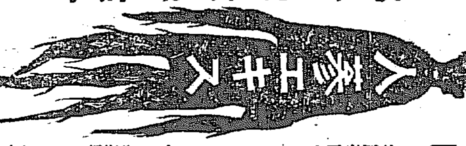
米株必勝の商賈 今年天井底直斷引 第賣買連勝の名法十二種餘ある 成功致富 案內一冊進呈す 申込次第
東京市本鄉區湯島四丁目 神誠館

一般法律事務を叮嚀迅速に取扱ふ

尚ほ事情に依り貧困者の辯護は無報酬にて依賴に應ず

辯護士 特許辨理士 高橋章之助 事務所
京城樂園洞二〇九番地 電話二五六六番
仁川仲町二丁目三番地 電話三六六番

朝鮮總督府許可



內用精 效能 神經衰弱、神經痛、老衰、痳病、胸病、痔病、子宮病、肖腦病、營養不良より起る諸病の滋養強壯劑なり

外用精 效能 神經痛、僂麻質斯、火傷、凍傷、切傷、打物傷、腫物、肩の凝れた時、虫に螫された時、筋の張る等によし

定價 六十五錢 一圓三十錢 二圓二十五錢 四圓五十錢

人參直取引大販賣所
人參エキス 滋養藥 朝鮮名產 一切 菓餡 製造本舖
京城本町一丁目 津村兄弟商會 電話一四八〇番 振替京城三五一〇番

支店
京城本町二丁目 バザー 電話二五一一番 賣店
京釜線大邱驛前 大邱 支店
[illegible]山 龍山 支店
釜山大倉町 電話三九四番 釜山 支店

本舖に御注文次第全道の藥舖に依る事が最も迅速安全に御便利に候 其他地方の發送は直接本店より仕代金は振替一旦御報次第配達に候

朔風骨も氷れと吹く中に

新軍旗勇ましく梨太院原頭觀兵式
秋山大將名馬岩露を靜に打たせて

龍山第十九師團の陸軍始め觀兵式は八日午前十時より龍山練兵場に於て擧行せられたり此の日嚴冬の

◆空は名殘なく晴れて 梨太院原頭寒氣膚を刺すが如く呼吸さへ凍る零下二十度の酷寒を示したるに新設師團の意氣に誇る第十九師團の精鋭は定刻前兵場に整列せり猶ほ劍光帽影燦然たる陪觀軍人席に方りては正裝の金モール眩ゆき古海中將朝鮮將官以下駐剳軍司令部、陸軍衛戍病院、兵器廠倉庫等の諸員整列し折りから南山の松翠に相映ずる鼎蹲の影も勇ましく斯くて定刻午前十時ともなれば

◆喇喨たる喇叭の號音と共に京城衛戍司令官秋山大將の閲兵式開始され、右翼步兵聯隊より野砲中隊、騎兵中隊の順にて順次堂々たる閲兵式あり、此の日秋山司令官は陸軍大將の正裝に赤色勳一等瑞寶章の綬を佩びつゝ名馬岩露を豊に打たせて進みたるが胸間勳一等瑞寶章功二級金鵄勳章の光り燦然として旭日に輝きこれにつゞく立花第十九師團長及び白水參謀長以下幕僚の英姿颯爽たるものあり かくて將軍一巡の上定位置に就くや喇喨たる行進曲の喇叭と共に

◆壯烈なる分列式開始され先頭諸兵指揮官立花師團長の號令の下に師團幕僚及び池田第七十八聯隊長これに從ふ、と見れば紅白の色鮮やかなる第七十八聯隊の新軍旗は燦然として寒風に翻り步兵聯隊の一隊また一隊銃劍を輝かしつゝ行進す斯くて七十八聯隊の分列式を了れば續いて朝鮮步兵隊二箇中隊の行進あり猶ほ野砲一中隊の轟々砲車を轢らせつゝ速足行進に移ると共につゞいて騎兵一箇中隊の長鋏を

◆閃かしつゝ砂塵を蹴立てゝ速足分列行進に移るあり斯くて梨太院原頭劍氣凌々たる裡に十時三十分式を了る

◆龍山練兵場觀兵式

(上右)閲兵 (上左)分列式 (下)最上の秋山將軍

仁川港頭 氷塊壘々

數日前より寒風吹き荒みたる爲め六日午後九時に至り仁川港内には氷塊浮流甚しく小舟の航行困難を極めたりしが七日午前五時に至り恰も干潮時に向ひたるより氷塊は相衝き相重なり引き潮に隨つて激しき流動を見同七時に至り第一棧橋以北は船舶の航行全く危險の狀態となり外港への航行は艦艇水雷艇が海陸間の交通に膺り居たるのみ同九時恰練習艦隊が拔錨する頃ほひには稅關第三棧橋は上流よりの流氷に依り危險の度を加へ小月尾島見張所附近の如きも又激しき流氷ありたり八日朝は稀有の寒氣とて海岸一哩餘は氷の平原を現出したるも滿潮時ともならば舟行も出來得べき模樣なりと(仁川)

漂流中救はる

專灣面碑灘浦より籾四百俵を積載して鎭南浦に向け航行中十五日午前十……住の漁夫古賀熊太郎が救助して連れ踏り鎭南浦署に屆出でしが其後十九……船一隻を發見し曳き歸らんとしたるも逆潮にて不可能なるより其儘歸港……も船體の操縦を失ひて吹き流されたるが折柄航行中なる德島縣板野郡堂の浦村生魚運搬發動機船船長佐藤勝一(三三)外七名の乘組み居れる第六大秀丸は同時に來合はせたる發動機船鳳丸と協力して難破船の乘組員を二名宛救助したるが其後鳳丸は機械に故障を生じて是又行衛不明となりたり

難破船二隻
朝鮮東海岸の暴風雨

▲三名行衛不明 慶北迎日郡滄州面九龍浦居住香川縣大川郡津田町生れの船頭猪塚茂八(五八)は船夫なる愛知縣碧海郡新川町生れの神谷常吉(三二)慶尙統營郡寒山島浦里の金俊甫(三五)と共に下關港中部甚四郎所有の帆船林丸(十石積)に乘組み十二月二十五日より魚類積み込みの爲め滄州面大甫里灣内に碇泊中二十八日午前四時半頃激浪起り二本の錨綱を切斷されて船體は海岸に打揚げられ破壞し乘組員三名は何れも行衛不明となりたるが俊甫のみは同日午前十時頃屍體となりて同海岸に漂着したり

▲汽船流失 朝鮮東海岸地方は十二月二十五日頃大風雪ありしが香川縣三豐郡觀音寺村當時慶北迎日郡滄州面居住の漁夫合田五郎吉(四〇)商橋忠次(四五)合田俊一(三八)等は一隻の漁船にて十二月二十五日迎日郡浦項より出漁中滄州面九龍浦東北方四里許りの沖合にて同日午後二時頃突然烈風に襲はれ著陸避難せんとしたる

米二百俵燒失

全南麗水郡麗水面東町海岸通米穀商山中鶴松方より十二月二十八日午前七時半頃發火したるより麗水署員は消防組を指揮し海水を注ぎて延燒を防ぎ住家一棟及び倉庫一棟を全燒し同八時二十分頃鎭火せり原因は炊事場の殘火が附近に散亂しゐたる木屑に飛火して大事に及びたるものにして家屋及び籾百五十俵玄米五十俵其他商品家具等合計三千五百五十圓の損害を蒙りたるも人畜には死傷なかりしと

今宵は滿月、月蝕

八日は滿月で月蝕のある事は既報の通りであるが京仁地方に於ける月の出は午後五時二十七分で同二十九分には既に殆んど皆虧となつて吾々の仰ぎ見る頃ほひには生光となり六時三十九分に至り全く復圓する畢竟初虧は午後二時五十分で其れより地平線上に出づる頃ほひには皆虧となり約二十八分間目は地球の影になつて暗くなり聽て左偏下より生光し初虧より約四時間の後滿月となるのである(仁川)

船夫二名溺死

開城郡光德面黃江浦里船夫金麗仁(三三)は外三名と共に十二月二十四日同里李珪鉉の玄米を一隻の帆船に積込み仁川に向け航行中二十五日午後五時頃月尾島沖合に差蒐りたる際俄かに風浪に襲はれて船體轉覆し麗仁及び金在萬の兩名は遂に溺死するに至り麗仁の屍體は富川郡多朱面長位里の海岸に漂着したりと

壽座休場

中村新駒一座は次の興行の準備と嚴寒のため八、九兩日臨時休業を爲し十日より返り初日を出すべし

春場所大相撲懸賞

東京大相撲春場所は愈々十二日より開始に付き好取組十番を選び勝負豫想を募集す

鳳（朝潮　（玉手山　（大戸平　（眞砂石
栃木山　大錦　對馬洋　兩國　宇都宮
黑瀨川（大響　大鳴門（千葉崎（琴ヶ浦
九州山　源氏山（綾川　大門岩（駒泉

右十組の取組をはがきに認め勝力士の肩に○、引分に×、預りは△を附す事▲勝負は總て協會發表の勝負附に據る事▲最も多く的中したる者より順次等級を附し賞品を呈す但し同點者多數の時は抽籤に據り右十組の中顏合せなき時は夫れを除去して計算す▲〆切は一月十二日最終便の日附印あるもの▲はがきの表面には必ず京城大和町京城日報社角力懸賞係と明記する事

賞品 一等(一人)銀側時計一個▲二等(三人)反物一反宛▲三等(十人)卷煙草一箱宛▲四等(二十人)福袋日用品及化粧品入一個宛

醬油樽で爆烈彈

慶北迎日郡九龍浦にて十二月十四日漁船にて入港上陸したる五人組の怪しき內地人あるを九龍浦憲兵派遣所の憲兵が誰何したるに此者は愛媛縣越智郡宮窪村生れ住所不定の闇漁右衛門(三六)外四名と判明せしが直ちに船內を臨檢したるに五升入りの醬油樽の中よりダイナマイト九十發、雷管百五十發、導火線四十三尺、線香三把を梱詰めとしあるを發見したるを以て直ちに逮捕し嚴重取調べたるに十二月十日釜山に於て氏名不詳の內地人より代價八十五圓にて買收し不正漁業者に密賣の目的なりと陳述したるのみにて堅く口を噤みて語らざりしが取調べの上身柄は所轄檢事局に送りたりと

烈風 火事 火傷

京城市中の出火三件

▼三角町―焚口 京城三角町八五金用在方より七日午後七時三十分頃發火したるも附近の者集まり直ちに消止めたるが溫突の煙突より吹き込みたる烈風の爲め焚口の火氣が焰り出されて松葉に延燒したるものなりと

▼古市町―焜爐 京城古市町四十三煙草小賣商中泰植方同居人趙德興(三四)は八日午前三時頃居室にて煉炭を焜爐に入れ暖まり就寢したるに火が寢具に燃ねつき大火傷を負ひ苦悶中を家人が發見して消止めたるが同人は直ちに南森醫院にて應急手當を受けたり

▼體府洞―煙突 體府洞一六七高彪烈方溫突の煙突より七日午後五時五十分頃發火したるより鍾路署員常備消防出動同六時十分鎭火せしめしが溫突一間を燒失したるのみなり又樂園洞一七二玄東鶴方煙突より七日午後七時頃發火したるも卽時消止

もつと寒くなるだらう
八日の午前六時零下二十度四分

京城に於ける八日の寒氣は此の冬に入つてから始めての猛寒であつて午前六時に於て零下二十度四分を示したゞに此の冬に入つて初めての

▲寒氣で あるばかりでなく明治四十四年以降初めての寒氣であつた京城測候所の最低氣溫の記錄は四十四年の一月に於て零下二十一度五分を示して居るからまだ八日の溫度よりは一度一分低い譯であるが一體京城の

▲氣溫は 一月十日より二十日前後に於て最も低溫の時期であるから今年は十五六日過ぎには更に氣溫低下して寒さの新レコードを作るであらうと豫測される、例年寒氣が

▲烈しい と云つても三寒四溫の例に依つて寒溫交々至るので大いに凌ぎ良いが今年は舊冬二十五日以來元日二日が少し溫暖であつたばかり引續いて日一日と

▲寒さが 烈しく成つて來るばかりで三寒四溫の調節が一向當に成らぬ如うに成つたこれは今冬の氣象の特徵とも云ふべきであつて例年大陸中央に位置してゐる高氣壓の中心點が今年に限つて著しく東北方に

▲傾積し たる爲め東蒙、東部西伯利亞滿洲等は其の中心點となり其の襲從する處朝鮮にまで及んで居るので寒さがずつと引續いて四溫の暖氣が割込む餘地が無いしかし多少の高氣壓の移動に伴ひ此の

▲猛寒は 今明日中續いて後は十日頃から多分又三寒四溫の序を保つて寒く成つたり溫く成つたりする事と思ふが寒氣はまだ〳〵ずつと降る事と思はれる八日の寒氣は

▲朝鮮に 於て最も溫暖地方なる木浦に於て零下八度、北部山嶽部に於て零下三十四度の低溫を示して居る(京城測候所長談)

二人組の強盜

黃海道載寧郡牛頭川面生れ當時住所不定金裕河(三二)は此れも住所不定の李大吉と共謀して客年十一月三十日午後十一時頃平壤乙密臺を通行中なる同町湯淺實(一九)に衝突し實は……伏となりて龍齒三枚を折り居にも……り、黃海道載寧郡上聖面中谷里宋永讃の背後より棍棒を以て毆打し金十四圓三十錢を强奪し十二月七日載寧郡邑內附近に於て松葉賣鮮童を欺き人家絕えたる山中に連れ行き鮮童を林中に縛りて牛一頭を强奪し其他數箇所に於て强盜を働らき再び平壤に流れ來り市中鮮人街を徘徊中平壤署の中村刑事に逮捕され取調べの上一月六日平壤地方檢事局に送らる

大盡の化の皮

興行渡り(?)……逃走し行衛を晦ましたる此程鍾路……

靑年毒藥自殺
說諭されしを憤つて

京城孝悌洞一〇九時計修繕業劉秉贇(二六)は七日正午頃自宅にて毒藥を仰ぎて自殺を遂げたり急報に接し鍾路署より係官及警察醫出張檢視して實父へ引渡したり藥物は目下試驗中なるが同人は前夜實父より說諭されたるを憤慨し此の始末に及びたるものならんと

朝鮮美術の展覽會

朝鮮美術同好會は道廳大和町一丁目微笑園向ふなる巴城館別莊を常設會場とし一月中旬より第一回展覽會を催ふすべしと猶ほ同會は朝鮮に於ける新古美術品の調査及び研究を爲し毎月一回鑑識評論並に寫眞帖を發行し爭て會員相互の美術品展覽會をも催ふすべしと

大金を窃取す

福岡縣山門郡生れ當時忠淸北道大田郡大田町本町居住無職江崎由太郎(四五)は舊臘十二月七日大田春日町料理店いろは樓に於て遊興中なりし宮地某所有の金四百五十圓を窃取し其足にて京城に至り新町遊廓日曜樓に登樓遊興し十二月二十五日平壤に逃れ來り驛前某旅館に京城吉野町薪炭商山田新吉と詐稱して止宿し相變らず大盡風を吹かして賑町遊廓にて遊興中を平壤署の手に捕はる

灯ともしごろ

▲長春から京城に來た人の話に長春も今年は非常の寒さで零下二十七八度が十二月下旬からの平均溫度で時には零下三十五六度まで下る時もあるそうだ▲處が其の長春から來て京城の旅館に這入ると寒くて寒くてガタ〳〵慄へて居られぬので朝から晩まで市中をブラ付き步いて宿には寢る時の外は歸つて來ない▲『京城は家の中へ入ると長春よりは寒くて外を步いて居れば太陽がさすから暖かくて好い』と悅んで公園あたりを散步して居つた▲長春邊の家は保溫設備が好くて大抵の家で二鉢や三鉢の草花を咲かせて居らぬ家は無い▲位で冬は京城あたりよりも却つて寒い長春の方が暮し好いと云つて居る

天氣 晴れ
▲一月九日 (八日午後六時より九日午後六時迄)

守妙(モリミヨウ)
(守田の妙ふりだし)を今スグ召上り
重らぬ先きの用心が何より肝要

輕い引風より肺炎、肋膜炎等を惹す例あれば風邪の氣味ある方は在來の丸藥、散藥の熟さましにて副作用を起す危險なるものより最も安心して飲める天下唯一の卓効ある守田の妙ふりだしを早速お試しあれ

試用 一貼 金五錢　二貼 金拾錢
徳用 六貼 金廿五錢　十三貼 金五拾錢　二十八貼 金壹圓　六十貼 金貳圓

東京下谷池之端仲町二十七番地 寶丹本舖
十二世 守田治兵衛 振替東京二九八五番

御油斷遊ばすな
「風邪は萬病の本」
日に增し寒さ激しきけふ此頃
▲ぞツと寒けを感じた時
▲氣分惡しく頭痛する時
▲頭重く發熱する時
▲嚏の出た時、咳の出た時
▲何となく風邪の心持する時
躊躇せられず一刻も早く
風邪發熱をさまし
痰咳を治し婦人の冷込より起る諸病を防ぎ全身を溫むるに
意外の大効ある

…尹氏…が船頭として一名の舵手と共に浪のまに〳〵漂流しつゝあるを乗組み十二月十日黄海道長淵郡折柄航行し來りたる鎮南浦明瑞號…の結果姉妹島沖約三里の箇所にて五十石積位の八幡丸らしき日本形帆船…（門司特電）

…旅館に宿泊して大盛風を吹かし西五百圓は旅館に暖り三百圓は酒色に遊…

…人松本永(二)が自轉車にて新町より本町四丁目を疾走中路中にて遊歩中…

北道沿岸の警戒を解く

●交番から見た都會人の心理

街頭哲學の一 ＝本町警察署長警視宮舘貞一氏談

●さなきだに雜然たる本町通りの光景は年頭に際し一層の混亂を加へて居る、一般の秩序と節制とは一兩年前に比して餘程改善せられてはゐるが、都市人口の濃厚を加ふるに從て此要望も亦自から大ならざるを得ぬと思ふ、狂者走り不狂者も亦走るで都會と村落、大都市と小都市とで一人の行動が一般群衆に及ぼす處の程度に著るしき差異があるのである。

●常に問題になつてゐるのであるが本町通りの行通狀態は動もすれば紊されて幾多の危險と障害とは之に伴ふのである牛車馬、荷車などは格別の必要もないのに道塞ぎをしてゐるのがある、自轉車、人力車の疾走して衝突し負傷せしむるものも尠なくない、家屋軒先や陳列棚を路面に出して道路を狹めるものもある、立掛けの看板が風に煽られて通行人に怪我させることもある、暖爐の煙突を道路に向けて造り付けてゐるのは本町通り全體を通じて三十戸ある。

●由來、社會の共同生存に必要なる要件を遵守することは取りも直さず道德である、此見地よりすれば道德に公德とか私德とかの區別がなく一連圓體のものであると思ふ、而して是等の要件即ち實在より抽象的に編成せられたるものは取締令である、一國の文野をトするに足るべき唯一の標準は共同生存に必要なる條件を遵守するの程度如何に存するに在りと思ふ。

●巡査が右側を御通りなさいと云ふ注意が、傍らに人の居るときと居らぬときとに依りて著るしき差異がある、傍らに人なきのときには何人も頗る柔順に服從するが多數傍觀者の居るときには故らに反抗的態度を裝ふの傾がある此心理狀態は警察官教育家及び社會矯風の事業に從事する人々に取りては大に注意すべき價値があると思ふ、人の不善を責め其改悛を促すには衆人稠座の間に於ては殆んど何等の効力もない現に監獄の教誨も從來の遣り方では其の効果が顧ろ薄いので近來は單獨教誨の方法…

●人間の心理狀態は周圍の暗示に依りて不知不識の間に大なる感化を受けつゝある、と同時に外界多數の群衆より暗々裡に波及するところの影響の頗る恐るべきものあるを感得せざるを得ぬ例の不健全なる思潮の傳播なども此類である。

◆七十三歳の大賊

京城…生れの辛有鉉(七三)は舊臘十一月十五日午後三時頃…方にて學生用洋服一着五圓を窃取し…方に…七十錢に入質したる手初めに…洞、松峴洞、樂園洞、淸進洞、釜屋洞、於義洞、通川洞、中…洞等に亘り前後十四回…人宅に忍び込み外套、靴、周衣、手布等三十…點、百三十圓を窃取し品物は其の都度假名して入質して酒色に耽りゐたる所を捕へられ京城地方法院にて懲役十箇月の處分となれり

●病妻を抱へて十年間の精勤

感心な一店員

京城南大門通り二丁目の丁字屋洋服店の店員三重縣松坂町生れの伊藤平次(三)は明治三十九年以來約十年間同店に勤務し主人の信用も厚く朋輩間の評判も頗る好い同人には普通商家の店員風情では迚も其似の出來ない美點がある平次は三十九年に妻女と共に渡鮮し西小門町に一戸を構へ直ちに丁字屋に這入つたのだが妻某女は其の年の暮れから重症のリウマチスに罹つた爲めに全く起臥の自由さへ失つて終つた然るに平次は是れも運命と諦らめて朝夕の炊事から用便のこと迄も男手に依つて手厚く勞はり長い十年の間病妻を抱へて人並以上の格勤を以て何等惜む所もなく打過ぎたが其の間有ゆる手段を盡して治療を試みたけれど本年十月遂に盡きぬ夫の慈愛を後にして妻女は行年三十八歳を以て不歸の客となつて終つた平次の悲歎は一通りでなかつたが平次の病妻に對する平素の手厚い介抱と心盡しを知つてゐる附近の人々は何れも非常に同情し殊に同縣人であつて太平町二丁目に古著屋を營んでゐる河井某は平次の身の上に同情し一店員の收入は知れたもの、幾等精勵しても家庭に重病者を控へて居ては生活も困難であらうとて自身が發起人となつて朋輩仲間で賴母子講を起して平次を救助した事もあつた而して現に平次の宅には同じ丁字屋の店員三四名も同棲して共同生活をやつて居るが何れも睦じく暮してゐる

●今年初めて學校へ行く小供

早く屆け出でよ

京城府内の七小學校にありては來る四月一日より新學期を開始するに就ては明治四十三年四月二日より同四十四年四月一日迄の間に出生したる子女を有する者は前記の期日に至り學齡に達する次第なれば所定の入學願書に戸籍謄本或は抄本を添へ來る二月二十八日限り京城府又は同龍山出張所宛屆出すべしと

●愛婦名刺交換會

愛國婦人會朝鮮本部にては例年の通り七日午後一時半より京城ホテルに新年名刺交換會を開催せり當日は谷評議員其他五十餘名參列、大橋主幹より新年の挨拶並に昨年度會務の報告あり了つて宴に移り筑前琵琶、義太夫、落語等の餘興ありて午後四時散會したり

●露語講習會開講　日の出小學校内簡易商業專修學校にては明九日より露西亞語講習會を開講する筈なれば志望者は此際至急同校宛申込まるべしと

●本町署の寒稽古　京城本町警察署にては昨今の寒中本月六日より寒稽古を開始せしが毎日薄暗き午前六時宮舘署長以下全員構内演武場に參集し火の出る如き擊劍の仕合に花を咲かせ居れるが何れも滅切り手腕上達したりと

●成田高女校長病む　京城公立高等女學校長成田忠良氏は客冬來腦神經衰弱及び胃腸に患され總督府醫院東五號室に入院し目下治療中なるが一時は歩行も出來ざる症狀なりしが昨今の經過良好にして此向ならば後二三週間に退院し得可きにより其上にて引續き暫らく内地に轉地療養を爲す豫定なりと

●上林氏母堂逝去　忠清南道長官上林敬次郎氏母堂は七日午前七時京都府宇治町の同氏本邸に於て逝去せり上林長官は急遽歸鄕の筈

●上田祕書官夫人の葬儀　總督府祕書官上田駿一郎氏夫人菊子は豫ねて病氣中の處遂に養生叶はず五日午前十一時死去したり葬儀は途中葬列を廢し十日午後四時半若草町曹洞宗別院に於て執行すべしと

●和田鈞一氏訃　和田常一氏嗣子鈞一氏は昨年來病氣にて福岡大學病院入院手術後は一時經過良好なりしが昨年七月釜山に轉地療養中昨今再發し八日午前五時遂に長逝せり葬儀は十日午後四時半南山本願寺に於て執行の由

●釜山の愛國婦人會　愛國婦人會釜山支部にては來る十四日午後一時より府廳樓上に於て同會員の新年名刺交換會を催し福引其他各種の餘興ある筈

神社とお寺と教會

○西本願寺(若草町)　八日午後七時より月曜講演あり
○護國寺(旭町三)　八日午後七時より法要說教あり
○京城日本基督教青年會　八日夜より夜學部開校せり
○曹谿寺(大和町三)　八日午後一時より婦人會例會開會にては餘興には福引等ある由

商況

東京公債直取引

八日前場	九四・七〇
五分利特別	九四・六〇
五分利四分	九一・三〇
一回四分	八二・三〇
二回四分	八二・〇〇
甲五分	[illegible]

深川在米特電

八日現在高	
朝鮮米	一八・八五
臺灣米	一八・三〇
内地米	一五・〇〇

東京期米特電

八日前場	二月限	先限
寄付	一七・八四	一八・〇三
高値	一七・九五	一七・九一
安値	一七・八四	一七・八〇
止め	一七・八五	一七・九〇

大阪株式

株式は一般に高し

大阪三品特電

八日前場		
一月限	一七九・九〇	一八〇・四〇
二月限	一七九・九〇	一八〇・〇〇
三月限	一七八・〇〇	一七八・八〇
四月限	一七七・五〇	一七七・六〇
五月限	一七七・一〇	一七七・二〇
六月限	一七七・〇〇	一七九・〇〇

大阪期米特電

八日前場		
當限寄付	一六・四七	
中限寄付	一六・八〇	
先限寄付	一七・一〇	

下關期米特電

八日前場	當限	中限	先限
寄付	一五・七〇	一五・八五	一六・一〇
高値	一六・〇一	一五・九〇	一六・一〇
安値	一五・七〇	一五・八〇	一六・〇〇
止め	[illegible]	[illegible]	[illegible]

雜報

●綿布は引締まる　米棉一圓二十五錢高の外

八日の入電によれば米棉は一圓二十五錢高にて…

●綿絲現物も綿布も好調の移り…

●初荷値百七十二圓　跡多少上値を唱へ…

●乾明太好況　…約二萬乃至二萬四五千駄　漸次人氣立…

●高特に活氣立…

●北鮮鰊大形品切　大形物は…元山品切れの報…

●生明太軟調　元山は稍軟弱の傾向…

●蜜臘の昨今

元山の三十圓當地の四十圓内外

蜜臘は客年中一時釜山質輸出の盛んなる時期ありて…

●臼米眼先高　…圓見當…入十六…

●糀と移出口　多少の値上…

●處に買進　一圓十五錢…

●籾依然强硬…

南大門の廻穀

…

京城正米

…

仁川現物市場

…

釜山穀市場　七日

…

●大連輸出石油罐…

下關相場

最高四十錢内外…

大五仲買店

仁川米豆取引所仲買人　海岸町三丁目　電話三〇九番長九二一番

生魚市場

…

仲買店

仁川米豆取引所仲買人　電話二八三番

仁川期米

▲八日前場　大阪天候晴天前寄十七圓四十七錢　一昨止より十二錢高の入電　六節四十二錢の移り…

市場雰聞

▲更に新高値…

▲前場の手振…

▲大阪の强硬正米の好況等に減した籾の出寄…

▲更に新規賣も加はり…

▲四十丁以上の立…

▲直に利喰…

▲依然强硬…

▲能く買ふ…

▲大に買ふ…

▲能く賣る…

▲大に賣る…

▲言能く賣る…

仁川米豆取引所

八日の三月限

前場寄付	十三圓十五錢
高値	十三圓十三錢
安値	十一圓十八錢
止め	十一圓十錢
出來高	四萬一千七百石
平均値段	十三圓十三錢

演藝案內

壽座　京城壽町　電話五七八番　一月七日八日替り藝題　▲前　小三金五郎　▲中　難波戰記　▲切　名作左小刀（京人形）木村長門守血判取

御成座　御成町　電話二九一　『時雨日記』全五幕…

稻荷座　本町五丁目　一月七日毎日替り物つゞき…

浪花館　明治町　電話二六〇　▲東京落語柳連雷門助六一行…

大正館　櫻井町　電話八七三　日本活動寫眞株式會社特約代理店…

壽館　京城壽町　電話一〇五〇…

黃金館　早川直營　電話二六三七…

質　京城黃金町二丁目（永樂町停留所北入）　堀佐營業所　電話六三九番

朝今延商店　大阪島米穀取引所仲買人

男の生殖器病　生殖器發育不完全で包莖、陰萎、早漏、遺精、夢精、勃起不全、交接不快、快感減少、腦神經衰弱等の人は自宅で簡單秘密に新案特許眞空療法器と原因療藥を併用する時は一回毎に効力が現はれ豫想外の偉効に驚くべし知名博士も其實効を證明し實驗諸氏の賞讚が如しハガキで申込あれば圖入說明書無代で入用に判らぬ樣密送す來所者には醫院部にて懇切說明す本器は博士數名の効驗ある證明を有す　東京神田かぢ町五　電話神田七二二番　東京眞空療法研究所

內科　胃腸病　診察夜九時迄　京城本町一丁目　石川醫院　電話一二三七・九〇九番

好評嘖々たる！携帶用　大阪仕入案內　商工業者の羅針盤　仕入商人の好伴侶　第十一年一月號出づ

貯蓄預金　元金百圓ニ付日歩壹錢三厘金壹錢以上何程ニテモ御預申候　株式會社長崎貯蓄銀行代理店　株式會社十八銀行京城支店　京城黃金町電話四二〇番五八〇番　振替貯金口座京城八二一番　同　龍山出張所　龍山元町二丁目　電話一八番

諸預金貸付爲替銀行一般ノ業務ハ精々御便利ニ取扱可申候

優等清酒　發賣元　本莊酒店　京城永樂町二丁目　電話六五〇番　京城四二番

內地塊炭　撫順塊炭　無煙煉炭商　京城西小門通　西崎商會　電話七二七番

銚子港　田中玄蕃釀造　ヒゲタ醬油　代理店　京城明治町一丁目　櫻正宗發賣元　山邑京城支店　電話八四九番

診察時間　自午前九時至午後六時　初診の御方は可成午前中　京城長谷川町一丁目（朝鮮銀行裏門前）　シメノウチ齒科醫院　電話八二二番

明君道中記

第二十三席 田邊南龍口演

天海は當時川越の北院に住居をして居りますが、最も東叡山寛永寺を御建立すつた方で今は隱居をして居りまするが、或日のこと椅子に凭つて心氣を休めて居ると、前の襖がスラリと開いたから天海眼を開いて見ると、白衣を召されて只お二人で其處へお入りになつたのは家康公、お顏の色も眞青で大分窶れてお在の樣子あわたゞしく椅子を退つて天海其處へ兩手を突へ 天『君には何時の間にか此處へ成らせられました、御案内も無之により御出迎ひもいたしません、殊に御意に叶りの榊原内記大久保彥左衛門なぞも相見わませんが如何いたしました 家『偖御坊に頼みたきことあつて罷越した、永らく師の坊の教を受けたるが最早此度は永き別れに相成らんければならん、就ては弱年の砌より戰場往來いたし數多の人を殺したによつて未來の罪障も恐しきことに思ふ、師の教化を受けて安養淨土へ赴きたく心得る』此時に天海は眼を睜つて 天『コハ云ひ甲斐なき上意を承はるものかな、戰場に於て數多の人命を斷ばとて是れは私にいたすことではない、天下國家の爲に戰をいたす數で罪とは申しませぬ、我が日本は神國でござる何故天壽茲に終らば神となつて國家を護り給はぬ、天海なぞは例へ死すとも成佛なぞはいたさん、魂魄此の土に止り惡鬼となつて御家を護る、君も此の土に止つて國家の守護神に相成つて然るべく存じ奉る』頭は圓いが腹の中は八角の坊さん却々勇氣運しく申し上げた、家康公莞爾お笑ひ遊ばして 家『あゝ迷つたり／＼、只今師の坊の教化によつて無明の夢の覺たる心地いたす、如何にも其の教に從ふであらう』と大きにお喜び遊ばす内に紫の雲其處へ棚引きわたり、其れに召されて家康公雲井遙に西天へ成らせられ、雲の上より蓮華の降るかと思ひますると愕然として覺め來れば是なん南柯の一夢、ビツショリ汗をかいて居ります、要時心氣を鎭め考へて居た天海が、是全く正夢に相違ない偖は大御所公の御他界も間もあるまいと俄に番僧をお呼びに相成り 天『用事あつて江戸表へ發足いたす跡を能く氣を付ける樣に』と草履を穿いて藜の杖を突いて其儘スタ／＼お立出に相成りました、服裝にはとんとお構ひがない、恰當白子の原へお出になると一人の馬夫が 馬『若し／＼御出家何處へござらつしやるか安く供をしてゐものだが乘つてくんねわかね 天『オー幸ひである江戸まで參るが供をいたすか』馬『ハイ有難うございます、駄賃さへ下さつしやれば江戸は愚か長崎の端までも供をします 天『宜し／＼望み次第賃錢は遣はす遠慮なく申したが宜い』馬『ヤアー有難うがす、氣を付けて乘らつしやるが宜い危わから 天『決して心配には及ばん』馬の傍へお寄り遊ばし鞍へ手をかけヒラリとお乘り遊ばしたのを見ると馬夫は驚いた 馬『却々何うもお前樣は乘りツ振が宜い、元馬乘でもしなすつたかね』失禮千萬な馬夫で、天海樣が伯樂なぞをするものか 天『若い時より馬が好きで毎度乘り慣れて居るから』馬『然うだんべわ何うして却々お前さまは乘り方が異物だ 天『其方は何處だ』馬『俺かね、俺は此の白子に居ります三五郎と云つて、自分の口で云つては可笑いが名代の正直者で、此の近邊で俺を知らねわ者は無わ位だ 天『ハヽア正直者といふ評判か、それは洵に結構なことだ』是から種々のお話しをなされると洵に此の三五郎の話しが御意に叶りまして間もなく江戸へお出になりました

外科一般 皮膚科 泌尿器科 花柳病科
院長 安部修三
京城永樂町二丁目金光教會隣
安部醫院
電話西一九番

醫院開業
內科、小兒科 入院隨意
酒井醫院
院長 酒井鼎
京城旭町一丁目 元中央婦人病院跡 電話二五四一番

曆

一月十日九星
舊十二月十七日壬子
本命四緑 ……

▲四綠 病難に惱る事有る日新事見合北方は吉 路劍殺▲五黃 厄介至極の事有る日新事手控着事は吉 貸金請印等を禁ず▲六白 平運の日物の下値を買は吉 新事手控着の事は吉▲七赤 災見逢ひの事有る日注意 新事手控着事は吉▲八白 むだ骨に終る事多き日新事手控 着事は吉▲九紫 上都合の日嫁居入學金件名弘 家作求職婚禮着氣利用等等萬吉▲一白 運勢變なる日 家居入學等皆吉 女子の思はね良縁を得大吉祥の日也▲二黒 怪しき事有る日新事手控着事は吉 買物に用心せらるべし▲三碧 爽快の日 轉居開業入學 金錢造船名弘婚禮旅行の和を計る等萬吉

美人
縱五寸五分巾四寸 男女○○寫眞五枚 組四十五錢頒特八枚 組八十錢實送料八錢(切手一割增)
大阪市中之島二白美堂

中風病
余が家は祖父及び父と母と三人とも同病にて困難したる遺傳系統にして其悲き實驗より得たる良藥を往復ハガキにて照會の方に詳報し一千人を限り名士題字の療養書を無代進呈す
▲兵庫縣明石鍛治屋町 加古忠兵衛

長壽 靈品は「ヨーグルト」
京城若草町 荒井牛乳販賣部 電話一〇〇番
滋養・健康の母は「荒井の牛乳」

一月の腦神經療法

斯くして治し 斯くして防ぐ

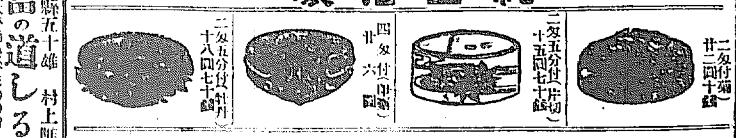
■夜更しと酒 樂しい正月、交際に忙しい正月、遊樂に追はれる正月、夜更し朝寢不規則な飲食殊に酒、正月は動もすると體を害しとり分腦神經を害する惧の多い時であるけれども大概の人は正月を知らぬ顏では過されぬ大なり少なり此不規則な生活の中に卷込まれぬ譯には行かぬ茲に於てか其れに對抗して腦神經の病を防ぐの手段が是非必要である

■頭痛と便秘と逆上 殊に頭痛持の人便秘性の人逆上性の人抔は謂はゞ平生から腦神經に故障のある人なのであるから此際一層の注意を要する斯ふ云ふ人達は格別に心を用ひないと芽度い年の始が旋つて呪ふべき腦病や神經衰弱の始となる酒を嗜む人の如きは急劇な腦卒中抔に襲はれる事もある是に對する最良の防禦は『島村醫學博士が有効を證明』せられたる腦病良藥『健腦丸』である何如といへば健腦丸は便通を快くし逆上を引下げて氣持を爽かにし頭痛を治し腦の故障を防ぎ神經の病に對して抵抗力を强大ならしむるに至大の効力を有つてゐるからである。而も其効き工合が極めて鮮明で廷遠くないからである。

■病者に於ては？ 既に普通健康者でも斯く腦神經を害し易い今であるから、常に腦の惡い人は最早や種々迷つたり唯の氣休めの樣な方法を用ひて居る可き場合でない。速に健腦丸を服用なさい。兎に角一週間分續けて御覽なさい。不思議に反應が現れます。健腦丸で好結果を得た人は世の中に非常に多い故に絶大の信用がある譯であります。

■安心して服める藥 實際健腦丸の製劑は尤も安全第一である。何となれば設備尤も完全と稱せらるゝ丹平商會の製藥場で數多の專門技師が研究に研究を重ねて、最良の高貴新藥を選んで配伍し更に嚴重なる監督の下に製劑されたのであるから信用して服める筈である。今日では腦病藥として東洋第一の製劑たる名を有するのも偶然ではない。健腦丸の價は四回分廿錢から十週分五圓迄種々あつて、全國藥店並に海外有名都市に於ける藥店に取次販賣してゐる。若し買切の際は大阪心齋橋二丁目丹平商會本店、同平野町丹平分店、東京日本橋丹平支店へ御注文あれ。

金質確實 純金・指環 技術精巧



二匁付(彫) 廿二圓十錢
二匁五分付(片切) 十五圓七十錢
四匁付(甲丸) 廿六圓
二匁五分付(牡丹) 十八圓七十錢

△千九百年巴里萬國博覽會受賞 △四十年京城博覽會 △始政五年紀念共進會金牌
糸岐商店
電話四一七〇 仁川本町 振替京七一
地方よりの御注文は代金引換小包郵便を以て迅速に御送品可仕候

△山縣五十雄 村上唯吉共著
富の道しるべ 價十五錢 郵稅二錢
京城太平通 振替三〇〇番 京城日報社代理部

活々した自然化粧
隱化粧に天下一品

黄金より大事な素顏を美くしくし
ホンノリ色白くなる
レートフード
附ける程眞底から美くしくなる

最も新らしい化粧液レートフードは、附けた時ヌル／＼致しますが、之れが素顏の根本を美くしくする効顯のある特長で、譬く掌で摩擦して居ますと直ぐ滑かによい氣持となります。そして乾度色艶を鮮かに、ホンノリ色を白くさせます。これはレートフードが皮膚の營養を盛んに致しますから自然に色が白くなりますので、使へば使ふ程眞底から美くしくなる事は不思議な程で御座います、其上日用化粧料として價格を低廉くしてムいますから恐らく効顯の確かな日用化粧品としてはこれ程お徳なものは御座いますまい。」

東京 平尾贊平

肌の荒れて白粉の斑になる人、常に皮膚のカサ／＼して硬ばる人は勿論、何人も是を朝夕用ふれば肌柔やかになり肌理細く、顏色鮮に麗はしくなる美顏料なり。

御園クレーム
定價 十錢 二十錢 五十錢

白粉下としては極少量を指先にて顏に延き其上へ刷毛にて御園粉白粉をはき付くれば洋風の化粧となり、煉白粉を塗れば品よき和風濃化粧となる重寶の品なり。

本舗 伊東胡蝶園
發賣元 丸見屋商店
(112)

京城日報
第三版
一月九日（夕刊と合せて八頁）

▲依然强硬　[illegible]

▲今能く賣る　[illegible]

▲㋑の大商內　[illegible]

▲〻の商內　[illegible]

◎遺失品　仁川富町道路上に去る二日橋の袋入[illegible]（四十四）が遺失しありたるを通行人[illegible]

京城雜筆　山寺生

先日崩ぜられた墺太利の老帝フランツ、ヨゼフ陛下に關して、頗る面白い話がある。陛下は九[illegible]位に在らせられたるにも拘はらず、甚だ質素なる生活を送られ、狩獵を唯一の娯樂として[illegible]季節には屢々御料地へ遊びに行かれた、かゝる際サキソニーの王とタスカニーの大公[illegible]賓客として陛下と同行するの[illegible]あつた。

▲或時の事御三方が終日狩り暮らして、これから御歸りにならうと[illegible]時、御迎への馬車が故ありて到着が遅れた。てうど其折り、一人の農夫が粗末なる一頭立の空馬車を驅つて其場に通りかゝり、御三方が[illegible]る擱眼を[illegible]て居らるゝので[illegible]方とは氣が付[illegible]路にあ[illegible]送り申さう[illegible]

▲御三方は面白きことに思召され、早速其の馬車に召された。かくて農夫は驅り行く間に、其客人の如何なる人であるかを知りたいと思ひけんで、一體貴君方は何人であるかと心易げに問ひかけた。

▲此問に對して、先づタスカニーの大公爵が『私はタスカニーの大公爵だ』と答へられた。すると農夫は笑ひ出して『貴方は』とサキソニーの王に向ふた『私か、私はサキソニーの國王だよ』との答へであつた。農夫は愈々笑ふて次にフランツ、ヨゼフ帝に向ひ同じ問を繰り返した。帝も面白きことに思召され、御笑ひになつて『私は墺太利の皇帝だ』と御答へになつた。

▲かくと聞いて農夫はとぼけた顔をして『タスカニーの公爵樣に、サキソニーの王樣、それから墺太利の皇帝樣が乘つて御座るのか。これは面白い。貴君方は私が何であるか御承知ですか。私は支那の皇帝です』と笑つたが、後で眞實の事が分つて、農夫は大に恐縮したといふ事である。

▲位の高い人、豪い人が微行の際、常人と間違へられて、それが爲めに或は滑稽、或は失策が演ぜらるゝはよくある話である。何處に何の樣な人が居るか分らぬ。のみならず人の運命は豫め計り知られぬもので、現在我々が見下して居る人に、出世して我々の上に立つやうにならぬとも知れぬ。此故に我等は平常注意して何人に對しても言葉遣ひを叮嚀にし無禮の仕打ちの無いやうにせねば[illegible]

▲世の中には[illegible]目下の者、若くは服裝の粗末なる者に對して無暗に威張りたがる人がある。本文の記者は風采頗る揚らざる上に、平常粗末なる[illegible]服裝[illegible]居るので、下等人[illegible]も上等とは思つて居[illegible]されて、役所や何かで[illegible]りする事が屢々ある[illegible]別に腹も立てない[illegible]にいつも其威張る人[illegible]するのである。[illegible]自分で威張らなければくれぬ氣の毒な[illegible]を威張らしておい[illegible]人達を喜ばす所以[illegible]威張らしてお[illegible]の價値が減ずる[illegible]ないから、謹で頓首再拜して可なりである。然しかゝる人達に敢て忠告する、人は見かけによらぬもので、諸君が叱り飛ばす人の中には社會上の位置に於ても、又智德に於ても遙に諸君の上に在る人がある事を忘れぬやうなされよ

▲目下の人に對し、叮嚀なる言葉を用ゐ、無禮をせぬやうする事は小なりと雖も一の善事である。此善事は如何なる人でも常に行ふことが出來て、之を爲すは其人にとりても又他の人にとりても利益である。柔能く剛を制す、誠の籠れる叮嚀なる言葉は屢々怒りを和げ、爭ひを防ぐのである。

獨逸食料缺乏

昨年の獨逸穀物收穫高は一昨年に比し三百五十萬噸多量なりしも戰前の平均額より遙かに減少せり馬鈴薯の收穫は非常に少く一昨々年の五千萬噸一昨年の五千四百萬噸に對し二千百萬噸に過ぎず一昨[illegible]收穫後國內に存在せる食量[illegible]にして性質も頗る不[illegible]月一日一人一日の[illegible]の三封度に減少せ[illegible]類の供給は今[illegible]は羅馬尼にて[illegible]發表せざるも二百[illegible]しと云ふ[illegible]物の分量を[illegible]を越ねざる可く獨逸新聞紙に據れば同國は近來全國を通じ甚しく食料品の缺乏を感じ中立國よりの輸入亦更に困難となり當局者は國民に對し極度の節約を要求し居るも同國民が本年收穫期迄其困苦に堪へ得可きや疑はし墺國の缺乏も同樣と思はる又普魯西兵員補充の爲め監獄に於ける囚徒を補充する筈にして目下其合格を取調中なり（瑞典發某所着）

『大正の青年と帝國の前途』を讀む（十）

大谷光瑞　十二月十二日上海に於て

是に由て之を知る、外交は賴むに足らず、中立に存すべからず、援軍は恃むに足らず。古に曰く、越人善く泅ぐと雖も、中國人の溺るゝを救ふ能はずと。援軍强しと雖も、其至らざるに國既に亡ぶ、況や國際の間、旦に夕に圖らず、昨の親友は、今の仇敵なり。請ふ伊太利を見よ、明に其盟邦を敵とせり。然れば我帝國の存亡は、一に懸て備の有無にあり。素より全世界を敵として、戰勝を期するが如き備を爲す能はずと雖も、我帝國を維持するに足るの備は無かるべからず。獨今世界を敵とし勝てり、而して四閫皆絶し、孤立せりと雖も、聯軍却つて彼の敗る所となり、終に彼を屈する能はず。獨の軍備は大なりと雖も、全世界の陸兵の和に等しき陸兵を有するに非ず。海軍の如きは英一國にすら及ばず。然れども彼の軍備は、彼一國を守るに足るを以て、列强之を圍むも如何ともする能はず。佛に至つては然らず、露亦然らず、墺亦然らず、皆自國を守禦するに足らず。若果して守禦するの軍備を有せしめば、獨の爲侵さるゝ露佛無かるべく、露の爲に墺は侵されざるなり。軍備とは直接戰鬪に要する兵員器械のみに非ず、勞力の分配、生産の種類、皆關せざるなし。是事上は廟堂の宰相より、下は邊陬の一民に至るまで、擧國一致、是を圖らざるべからず。是れ即ち全帝國をして一大要塞化せしむるなり。小要塞猶破り難し、況や大をや。是に至つて全世界を敵とするも、我帝國の寸土も侵さしめず、隙あれば却て敵を破碎すべし。即ち治にして亂を忘れざるの實なり。我帝國日露戰役以前事々皆經濟を主とす。故に國帑に審にして兵を以て頭を排けり、今然らず、是と雖も實は力弱し。況や軍備を餧する者は、叛逆者の如くし、軍人を見るや、仇敵の如く、擧世皆平和に酔ひ、金錢を尙び、節操、廉恥の如きは之を棄つる事、土芥の如し。而して曰く、外交振はず、國勢進まずと。自から進むの途を講ぜんとせず、而して大に進まん事を望む、其の得べからざるや宜なり。車に乘じ坂を下る、其餘勢、坦途に至つて止まる、而して之を牽かず、車上疾呼車の進まざるを怒るが如し。人誰か其痴を笑はざらんや。況や坦途に非ず、急坂を上らんとするに於てをや。

日報 新年詩壇

遠山雪恭賦　阪上　怡庵
[illegible]
評曰　[illegible]

同上　田淵　雲州
[illegible]
評曰　秀精[illegible]

同上　大内　夏畦
[illegible]

同上　本田　芳洲
[illegible]
評曰　前首奇想、後首色彩[illegible]

同上　齋藤　[illegible]
[illegible]
評曰　詞采明暢。

同上　藤倉　騰藤
祥雲瑞氣思無邪。…
評曰　詞旨明暢。

同上　岩本　耕石
不二峰頭雪皎然。紅旗照映一天鮮。瑞光自是昇平象。父老歡呼有年。
評曰　雄大光浹、冠絕千萬邦、頌語極得體。

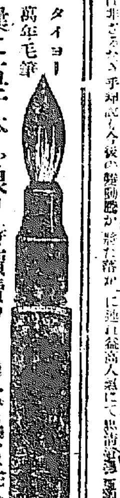
本紙定價　一部金二錢五厘　一ヶ月金五拾五錢（郵稅共）[illegible]
廣告料　[illegible]
發行兼編輯人　[illegible]
印刷人　小川三之介
發行所　京城大平通一丁目　合資會社京城日報社
電話　[illegible]

株式名義書換停止公告
來ル一月九日ヨリ第四回定時株主總會終了迄株式名義書換ヲ停止ス
大正六年一月　株式會社富國[illegible]

新刊圖書御案內
系統的國語讀本　…
英國經濟的勢力　…
文那貿易案內　…
商業簿記（上）　…
簡易生活百話　…
英語習字辭典　…
民事訴訟法論　…
刑法論　…
ロンドンの商業　…
流轉のはじめ　…
大正新體作文　…
高等文官試驗問題集　…
寶文堂書店

創刊號　經濟雜誌界の權威
經濟時論
◎減債基金と海軍擴張……仲小路大臣　濱口總務
◎同業組合の必要を論ず……田尻法學博士
◎寺內內閣の財政策を評す……堀江法學博士
◎官業會計一新の急務……上田高商教授
◎戰後の思想と我經濟政策……津村法學博士
◎新貴族主義を建設せよ……山路愛山
◎正貨處分と金融調節……服部早大教授
◎新年附錄　對支各國借款調查　十餘頁に亘り詳細を極む
◎正貨處分三希望……片岡直輝
◎政界春秋……田中萃一郎
◎富國强兵文化……鹿子木員信
◎獨逸の窮狀……鶴見記官
◎時局中の製糖業……山莊主人
◎株式界豫想……小池國三
◎內外經濟時報……大阪側面觀
◎時評　◎營利事業としての瓦斯會社
每月一回一日發行　一冊金二十二錢　送料金一錢五厘　六冊前金一圓三十錢
東京神田　株式會社同文館　振替東京五卅百番

一ヶ年卒業　實業講習錄
新學年開始來れ!!
大正六年の出發點は今なり
開始書翰習字
顧問　法學博士新渡戶稻造　法學博士高田早苗　大倉喜八郎　安田善次郎
贊助員　其他名士數十名
總裁　大隈侯
副總裁　澁澤男
本會講師　帝國大學及び高等商業學校各科專門教授博士學士其他十數名
講義科目　△商業簿記　△銀行簿記　△商事要項　△商業英語　△商業作文　△商業數學　△珠算暗算　△商業實務　△商業地理　△經濟講話　△實業訓話　△商品學　△實業學　△實業史　△處世法　△科外講話
自宅獨習自在
本講義錄は學問する時間と資金に乏しき青年が自宅で獨習して立身出世に必要なる實際に役に立つ學問を誰にも分る樣に假名を付けて面白く書いてあり將來の大活動の新智識を授けるものです
會費　一ヶ月五十錢　三ヶ月一圓四十五錢　六ヶ月二圓八十錢　一ヶ年五圓五十錢
創立五周年記念大特典
△水書用紙進呈!!
△入學金免除!!
△奬學資金提供!!
一等金三十圓　二等金十五圓　三等金五圓
其他種々の大特典は見本に詳說す
見本無代進呈
東京京橋　實業之日本社內　帝國實業講習會
振替東京一六八四　電話京橋一七四番

タイヨー萬年毛筆

巢に五千本を限り時價賣出しの本品は非常の好評にて愈々全部を賣盡したれば各位の御厚情に酬ゆる爲製造元と交涉し引續き特價六十四錢を以て販賣可仕候間相變らず御用命ありたし
京城日報社代理部

品質第一　誠實第一　實行第一
キッコーウリー
最上醬油
釀造元　仁川港
日本醬油株式會社
京城出張所
京城大平通二丁目電話二四五番

最新刊
株式會社法論　片山義勝
支那時文講義全集　山田勝治
日獨提手論　樋口麗陽
現代名家圖案集　石井柏亭
繪本更科草紙　栗枝亭兎胡
必勝史上發句集　大日本俳諧會編
日本國民傳說　高木敏雄
乃木將軍詩集詳解　小笠原省三
富世百道樂　堀內新泉
河竹默阿彌　河竹繁俊
渡り鳥日記　松本赤太郎
一兵卒の銃殺　田山花袋
道草　夏目漱石
白紗集　長田幹彥
幻の繪馬　泉鏡花
その妹　武者小路實篤
小鳥　長田幹彥
死者生者　正宗忠夫
親鸞聖人　碧瑠璃園
たのもしき少女　沼田笠峰
圍碁要擊戰法　瀨越憲作
大阪屋號書店　京城本町二丁目電話二〇八六番

◎墺帝平和強要

獨皇帝に對し強壓を加ふ 土耳古勃牙利兩國の後援

墺匈國の絶望的形勢に依りカール皇帝は平和を強要するに決し皇帝は親獨派の官吏を免官しつゝあるが其の中には外務大臣マツキオ男も含まれ居れりマツキオ男の後任は曾て日本大使たりしミユール男に決せり又皇帝は獨逸皇帝に對し強壓を加へ居れるが是には土耳古勃牙利の後援を有せるものと信ぜらる尚ほ來るべき獨墺勃土元首會議に於て該問題を決するに至るべし（倫敦電報）

◎獨逸皇帝の勅語

敵は獨逸を全滅せんとす、敵をして講和の已むなきに至らしめよ

本月五日獨逸皇帝の同國陸海軍に下せる勅語左の如し

平和提議を拒絶したる敵は獨逸を全滅せんと欲し戰爭を依然繼續すべきも其の責任は一に敵國政府に在り爾等は敵の態度に對して嚇として怒り鐵の如き心を持し敵をして講和の已むなきに至らしめよ

此勅語は獨逸の上下を通じて一般に歡迎され居れり（瑞西發八日共筋著電）

◎英飛行機鐵橋破壞

英國海軍省の發表するところに依れば英國海軍飛行隊はマリツア河（勃牙利内にあり希臘國境に近し）に架せるクレリ、ブルガス間の鐵橋を襲ひ其一部を破壞せり（倫敦電報）

◎日支交渉と公民代表

在北京公民會代表者より日支交渉切迫し政府は警察權委任及び顧問傭聘の二案件に大讓歩するところなきも今や最も大事の場合なれば各團體より更に政府に對し激勵的電報を發せよと奉天省長及び督軍、省議會に電告し來れり（奉天特電）

◎御講書始

天皇皇后兩陛下には九日午前十時波多野宮相鷹司侍從長大森皇后大夫以下の近侍を随へさせられ宮中鳳凰間に出御御講書始を行はせられ左記三氏の進講を聽し召され別殿に於て三氏に對し御酒饌並に御目録羽二重一疋宛を下賜せらるゝ由（東京特電）

一、洋書　東京帝國大學名譽教授法學博士男爵　穂積陳重
一、洋書進講者控　宮内省御用掛東京帝國大學名譽教授法學博士　富井政章
一、漢書　正五位　土屋弘
一、漢書進講者控　東京帝國大學文科大學教授文學博士　服部宇之吉
一、和書　學習院教授正六位文學博士　松本愛重
一、和書進講者控　東京帝國大學文科大學教授文學博士　三上參次

◉南支近狀

赤塚奉天總領事談

新任奉天總領事赤塚正助氏は夫人同伴八日午後九時南大門驛著久水外事課長等の送迎を受け同四十分發列車にて北行せり途中迄出迎へし記者に語る、予は十月十三日赴任地廣東を出發し東京其他への滯在が意外に永引いたから

▲急遽奉天 に向ふのである實は途中京城にも立寄り長谷川總督山縣政務總監にも敬意を表し又新領土の首都京城市街の瞥見もしたいが何分先が急がれるので今回は通過する事にした、南支の近狀ですか、既に廣東を發して前述の如く三月にもなるから僕の智識は實は舊狀に屬してゐる、左樣支那の國會で又々南方の闘士と目すべき龍濟光の處分問題が起つてるやうだね、結局南北兩派の軋轢が此の問題を時々議政壇上に持ち出すのであらう、龍濟光と云ふ人は部下もあるしそれに色々な事をして用力が豐富だしするから强くないとしても兎に角力量のある人である南方革命派では錚々たる人物だ昨冬瓊州に移つて以來鳴を鎭めてゐるがそれは

▲廣東の督軍 に其の舍弟陸榮廷が就任してゐるのを先づ主な理由と見てよからう、陸も龍も兄弟共南方の重鎭岑春煊の部下だから陸が廣東に蟠居してゐる以上廣東方面の物情は大體に於て靜かなものと見ても可なりだらう、尤も支那の事は常識で判斷出來ない事が多いから如何に形勢の推移して行くかは豫め知る事は難かしい、支那が米國鐵道借款一億圓の資金で湖南から廣西迄の長距離に鐵道を敷設しやうとしだり又佛國の勢力の下にある廣東から四川迄の鐵道に競爭線ともなるべき鐵路を英國で敷設權利を得やうとする如き問題は時々一説として之を聞くけれど借て其實現と云ふ事になつては

▲扞格の狀況 其他色々の理由で仲々難かしい、予の赴任地に居る迄の形勢では南支に於ける各鐵道敷設問題は到底物になるらしい運びに至つてゐるのはなかつた、廣東に於ける日本人の勢力は近時仲々盛んである、數に於て必らずしも多くはないが粒が揃つてゐる、實力のある商店や大會社支店等の增設があるのは頼母しい、前途も益有望である、奉天へは初めての赴任で滿洲方面の智識は頗る乏しいのだから之れから大に研究して掛らねばならぬ總領事館は帝國在外公館中最も事務の繁劇な所と云ふがどう云ふ方面の事務が多忙なのか其れさへまだ分らぬ位だからね僕は奉天に立派な邦字新聞が一つ位あつて呉れると好い抔と思つてゐる朝鮮に入つて此の嚴寒に弱つた奉天は一層酷いだらう然し京城まで來て引返す譯にも行くまいから……云々

●朝鮮鑛業界の現在及將來（下）

大正六年は其の鑛産額三千萬圓を超過す可し

斯の如く規模の擴張施設の整頓は一般稼行鑛山の發達と相俟ちて鑛産額の增加を促せり、之を

▲輸出額に就 いて見るも併合以來大正三年迄は其增加率比較的輕微なりしが大正四年以降頓に激增の趨勢を示し殊に大正五年の如きは其の推定總額二千三百七十一萬六千餘圓と注せられ之を大正四年の輸移出額一千四百二十七萬八千餘圓に比すれば殆んど一千萬圓の激增を示せり今大正二年以降に於ける輸移出消長の狀況を表示すれば左の如し

種別	大正二年	大正三年
金鑛	五三二、四〇四圓	五九九、七三一圓
鐵鑛	三四八、五五三	四八六、四四〇
黒鉛	三四八、八六八	一五三、一〇七
石炭	二七七、二七七	四〇八、一六四
重石	……	……
其他鑛物	一〇八、一九一	[illegible]
金地金	九、六六一、五五五	九、六三四、〇三五
銀地金	三三、四〇〇	三〇三
計	[illegible]	[illegible]

種別	大正四年	大正五年（推定）
金鑛	九九九、六八一圓	一、三三四、九六四圓
鐵鑛	五〇一、九六〇	五三九、五三八
黒鉛	一〇一、九九一	三三六、三六八
石炭	六六九、一七五	三八八、〇四四
重石	六〇、四六八	一、八〇〇、〇〇五
其他鑛物	[illegible]	[illegible]
金地金	[illegible]	[illegible]
銀地金	[illegible]	[illegible]
計	[illegible]	[illegible]

備考　大正五年九月以降は其の以前の實數の比に依りて推算せり

▲尚は基礎時代 にして大規模の施設は概ね最近の事に屬し未だ鑛産額の增加を見ざるのみならず目下設備中のもの亦其の全能力を發揮するの運びに至らざるもの尠なからざるは前段に叙述せる鑛業開發の趨勢に徴して明白なる可く從つて鑛産額の如きも今日の增加率は漸く其の傾向の幾分を實現し來れるものに過ぎざるを知る可し、若し之等諸鑛山にして其の全能力を發揮するに至らんか、[illegible]業を開始せる甲山銅山は年額約六百萬斤の豫定なるを以て假りに其の價格を百斤七十圓とせば六年以降新に四百二十萬圓の産額を見、稷山金山は從來の産金額概算七八十萬圓なりしも砂金採取の新施設に依り本年内に於て少くとも七八十萬圓の增額を豫期せられ又三菱製鐵所の工業豫定の如く進捗せば大正七年以降年々十萬噸の製鐵を見べく一噸の平均價格を四十五圓と假定するも新に四百五十萬圓の年産額を生ずるなる可し、叉た遂安金山に在りても補導方面の操業果して順調ならむには更に數十萬圓の增加を數へ龜城金山亦た年産額に激進を見る可く其の他咸鏡北道に於ける石炭鑛、平安南北及び咸鏡道に於ける結晶黒鉛、慶尙北道に於ける土狀黒鉛等の如きは少なからざる增額を豫定せらるゝのみならず重石鑛、水鉛鑛等の出願許可の曉に於ては亦其の産額に多大の增加を豫期し得可し、殊に六年度豫算にして通過せば平壤鑛業所の採炭能力は比年ならずして三十萬噸を算すると共に煉炭製造上多大の增加を見る可く尙ほ試掘中なりし价川、新興、咸興等の保留鑛山に在りても、來年度より調査設計及び採鑛坑道掘進に着手の豫定なるが故に其の眞價は遠からずして闡明さるゝに至る可し是に由て之れを觀るに朝鮮の鑛産は前掲諸鑛山の施設のみを以てするも本年に於て優に

▲約一千萬圓の 增加を豫想し得可く此の他諸鑛山の進展發達の狀況を細討せば産額の激增は思半ばに過ぐるものある可く久しき理想たりし年産五千萬圓の實現を見るは敢て遠き將來にあらざるを首肯するに足らむ

●獨潜艇と電報停止

カルカツタ發三井物産支店著電に據れば獨逸潜航艇の横行に對する必要上印度政府は船舶の出入に關する電報の取扱を停止せりと

◉內地行滯貨漸減

●六日朝二萬三千噸弱●

六日朝現在鐵道局調査鮮鐵沿線の內地行き貨物停滯狀況を聞くに各驛共輸送幷に受附の制限を行ひ居れる爲め滯貨の數量は漸減の傾向にあり乃ち山陽線經由以東行きの滯貨並に輸送中の數量は金線を通じ一萬九千八百三十一噸にして之れを舊臘二十七日の現在に比すれば約六千噸を減じ又九州並に下の關行きは停滯及び輸送中のもの二千九百零一噸に過ぎず同じく舊臘末に比すれば一千六百噸の減を示し居れり內譯左の如し

▲本州行き

種別	六日朝	舊臘末
釜山滯貨	三、五六四噸	三、三七七
各驛に於ける貨車中積込貨物	一五、四一〇	二一、六四三
輸送中	八五七	四〇四
合計	一九、八三一	二五、四二四

▲九州及下の關行き

種別	六日朝	舊臘末
釜山滯貨	一、七七三	二、九五五
各驛に於ける貨車中積込貨物	六二二	一、〇六五
輸送中	五〇六	五〇一
合計	二、九〇一	四、五二八

乃ち總計に於て舊臘末は內地行き滯貨二萬九千九百五十二噸なりしも六日朝は二萬二千七百三十二噸に減せし譯なり

◉漢湖農銀總會

漢湖農工銀行大正五年後半期決算は去る十二月三十一日を以て締切り各支店出張所よりの報告も全部出揃ひたれば去る四日重役會議を開き利益分配案並に定時臨時兩總會に提議すべき議案を協議したる結果總會は來る二十日午後一時より同行樓上に於て行ふこととなり損益計算利益分配案總會提議等は目下度支部に提出認可申請中なり而して今期株主總會は定時總會と臨時總會を兼ね行ふものにして定時總會提議は例の如く貸借對照、財産、利益分配案等の諸案なるが臨時總會に屬するものは定款一部の改正と支店管轄區域の變更等なりと今期成績に就ては未だ發表を觀る能はざれども概して前期よりも良好なりと

◉銅製品露國輸出

京城商業會議所より曩に露領に派遣したる鮮露貿易視察員の手に依て賣買契約を結びたる朝鮮産品の中既に二三品は送附を了したるが更に今回李王職美術品製作所の製造にかゝる銅の加工品文鎭灰落し等五十數點を送ることゝなり八日會議所より發送したり

◉經濟研究會

經濟研究會は十日午後五時半より銀行集會所に於て美濃部鮮銀總裁歡迎を兼ね新年會を開催の事となれり

◉關釜聯絡船不著

八日夜釜山入港の豫定なる關釜聯絡船壹岐丸は海上不穩の爲め中途より引き返へしたるを以て九日午前內地よりの郵便物は不著なり

嶺南言北語

獨逸側の各國皇帝は維也納で會議を開き戰時內閣代表者等は伯林で會合する▲之に對し協商側の戰時內閣代表者は羅馬で大軍事會議を開くと云ふ▲一方は如何にかして講和の目的を遂しようと焦り一方は此の和合を以て敵に當り戰爭の目的を遂しようとする▲歐洲外交界は將に多事の絶頂に達せんとして來たらしい▲百萬の軍勢の實彈の突撃を見るも壯快だが、兩々遂に相對して其外交の手腕を闘はす處は更に痛快だ▲今年の年賀狀にも大分振つたものがあつたが井上陸軍大將の年賀狀は更に振たもので曰く一、今後多少緣故ある人の外は年賀狀を濫發せず二、年賀狀は成るべく葉書を用ゐ住所氏名を詳記すべし之れ綴り込みに便なる爲なり三、封筒入の年賀狀は萬止むを得ざる場合にあらざれば使用せざること四、新年の通常郵便物には非年賀狀と表記の事との四箇條が附記してある▲犬養木堂氏は例の僕の處へ全國の青年男女から澤山の手紙が來る▲讀んで書いた簡單なものなら大概讀むがペンで洋紙に書いたもの▲殊に「我が愛する木堂先生よ」など書き出してあるのは迚も讀みつゞける勇氣が出ない其儘にして積み重ねて置く▲近來此種の甘つたるい冗長な文章を書く若い者が益々多くなつたのは國家の前途のために寒心に堪へぬ事だ▲單に物質問題として其紙丈けでも不經濟此上ないことゝ思ふ此點からしても文章の恢復は差當つて急務であると

郵送紙價改正

新聞用原紙及印刷諸材料暴騰に付全鮮各新聞社聯合大會の決議に基き大正六年一月より一ケ月分新聞代五錢を値上げ致候就ては郵便送達新聞代金を今後

壹ヶ月分（郵税共）七十錢
三ヶ月分（郵税共）二圓
六ヶ月分（郵税共）四圓
壹ヶ年分（郵税共）八圓

に改定仕候尤も前記計算は前金御納入に限り申候間左樣御了承願上候

右謹告仕候也

大正六年一月五日

合資會社　京城日報社

會監　大町桂月先生　顧問　巖谷小波先生

完備せる「手紙講習錄」六ケ月卒業 先生に依りて速成的に手紙上手とならしむ 會員の手紙を無料添削あり ◉入會好機◉見本附會則申込次第送呈◉會費一ケ月卅五錢全納一圓八十錢

手紙上手は一生の德

東京牛込區高田馬場　手紙研究會　振替東京二八六六番

朝鮮彙報

朝鮮彙報　大正六年一月一日　（定價貳拾五錢 郵税二錢五厘）

主要目次

口繪　遠山の雪（三色版）　李王職牧馬事業　樂浪及高句麗時代の古蹟

■歲首の辭
■長谷川總督訓示
■大正五年に於ける朝鮮

◎寺內前總督告別記念寄贈金の頒與◎各道行政區域名稱一覽表（全羅北道）◎十一月中朝鮮貿易◎十月中經濟概況◎大阪府朝鮮貿易要◎李王職牧馬事業概要◎乾繭器の普及狀況◎アカマツ一年生苗の床替密度に就て◎大正四年保險事業成績◎十一月中の鐵道運輸◎鐵道倉庫營業開始◎朝鮮司法制度沿革◎私娼取締に就て◎戰後の獨禍

□內地學校視察報告……平壤女子高等普通學校長　渡邊春藏
□普通學校卒業生指導方法……沙里院公立普通學校長　堀捨次郎
□鬱陵島の森林植物……總督府技手　石戶谷勉
□大邱各市概略……大邱府尹　竹崎六次郎
□忠淸南道蠶業十年計畫……忠淸南道報告
■樂浪時代の遺蹟……工學博士　關野貞

▲投稿を歡迎す　原稿締切期限毎月十日
▲販賣店　京城大阪屋號書店◉巖松堂京城店　其の他朝鮮各地の書店に販賣す
▲廣告料　一頁十圓　取扱店　京城　ウツボヤ書籍店

天覽

蘇峰文選

國民新聞創刊二十五年記念出版

總布製美本　千五百餘頁　（定價三圓五十錢）特價二圓八十錢（送料金三十錢 外國金五十錢）

蘇峰學人は明治大正に於ける文壇の巨擘也。其の文章絢爛精緻にして、思想識見の卓拔雄大なる、眞に當代獨歩の觀をなすもの、蓋し是れ偶然にあらざる也。本書は學人三十年間の傑作を聚收大成したるものにして一面より觀れば時代精神、國民精神の一大結晶とも稱すべく、他面より觀れば學人半生の錦心繡腸と謂つべき也。而して其內容の豐富にして變化極なき或は經世的論文あり、修養的記述あり、又內外人物評あり、史傳文書の批判あり、其他小品文、紀行文、隨筆雜記等あり、長者は千尺の重錦の如く、短者は拉雜たる精金美玉の如し。故に近時の世評此の一卷に集まり、何れも當今文壇の偉觀なりとす、亦た其の一斑を評し得たるものか。何人も座右の師友、書齋の珍藏として必ず一卷を備へらるべき也。

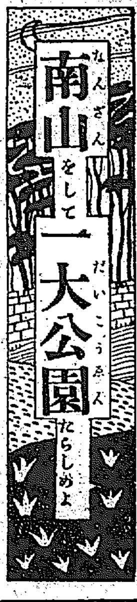
發行所　東京市京橋區日吉町　振替口座一三一〇〇　民友社
賣捌所　京城太平町一丁目　振替京城三〇〇番　京城日報代理部

北滿滯貨輸送 [illegible] には約四萬噸の滯貨ありて何れも北方へ輸送せらるべきものなり [illegible] ▲貨車增發 [illegible] 十五人を增派して之を處理しつゝあるが貨車の增發と共に之が一掃も亦 [illegible] ◉主家の米を盜む 山口縣玖珂郡柳井町生れの管井虎一（二三）は明治四十四年以降に窃盜前科三犯あり大正五年十二月廿五日以降其の雇主なる京 [illegible]

▲海倉敷料 [illegible] 車(十五輛貨車)長春(約百五十輛)口運輸公司、東昌洋行外二箇所にて(三百輛)の停滯あり其他長春市中 從事しつゝあるが一日約百臺の破壞し頗る容易なりと

は坦々たる道にして江河は皆結氷 として燐寸石油等甚だしく價格少き ものを貨車には主として貴重の物品

經濟上にも大關係あるより長春郵便局は驛內に臨時派出所を設け局員



▽雉子林、絹のやうな布晒し 二里半に渉る大自動車道

―林學博士 本多靜六氏の談(三)―

第七には雉子林を作つて山鳥、鳩、鶴の如きを放つておく。場所は京城神社の東から植物園の中央の廣場に水が出る所がある、此所に金網を張つて叢林を圍ひ込み雉子は羽を切つておくと共に雉子が

◇巣を作るべき小舍を仕切てやり水のある所には餌を撒いておいてやる、網の中に居る雉子が啼くと山に居る雉子が集まつてくるすると、金網の中の雉子が旨さうに餌を拾つてゐるのを見て自然に入つてくる、菓子でもやれば人に馴れる獨逸邊りの雉子林の雉子は人が行くと皆ゾロ〱と後から尾いてくる、左うしておくと小鳥もくる小鳥の

◇巣を作つておいてやれば其處に無數の鳥が集まつて人に馴れ手を出せば掌に止るやうになる、今の樣に鳥とさへ見れば打殺すといふやうな習慣は殺伐で可けない小鳥を掌に乘せたり雉子に餌を與へて喜ぶやうな優しい習慣も養ひたいものである、雉林から奬忠壇へ出る谷間には水が多い、之れを利用して一大洗濯場を作りたいと思ふ

◇現在奬忠壇の前の谷川には自然の洗濯場があつて蕃の人のやうな朝鮮婦人が毎日集まつて布を洒してゐる、之れは朝鮮風俗として面白いものである、私が數年前初めて京城に來て南山を歩いた時の第一印象は此の洗濯の模樣だつた。斯ういふ風俗を保存するために又此の附近の景趣を添へるために谷間にある

◇斷巖の奇なるもの に加工して極めて自然的の飛瀑を作り上流から落ちてくる水を堰き止めその下流に大規模の洗濯場を設ける此の瀧を作るに就いては大に吾々の技術を要する所でルーソーが自然の成せるものは皆美しい、人間の手に腐敗する――と言つた通り飽くまでも自然に出來たものであるやうに作らなければならぬと思つてゐる

◇奬忠壇にある建物 その他は朝鮮固有のものであるから之れは現狀を維持するとして別にその附近にある約三十五間に五十間の平地を大運動場とする、運動場の三方に丁度いゝ勾配の丘があつて恰好の見物席となつてゐるので之れは少し手入をすればその周圍に何萬人といふ見物人を寄せる事が出來る、老人亭も

◇景色はよし巖石の 奇なるもあり、流れもあり、川の上には水亭などもあつて昔から文人墨客の曳杖の地となつてゐた所であるから此の邊も手入をして公園內の休憩所としたい。さて次ぎは以上の設備を聯絡する大廻遊道路であるが先づ總督府前から漢陽公園に出で、其處から左へ下りて慶用動物園に到り更に十分一の勾配の道を造ると

◇國師壇の手前一二丁の邊まで自轉車をやる事が出來る國師壇から下り坂になつてゐるので麁林を經て、漢江里へ通ずる新道を通つて運動場へ出ると此の周廻が二里半になる、此れが卽ち自動車道なのであるが此の道路の兩端の排水溝は淺くて平たいものでないと車輪が落ち込んで容易に出られない不便がある

◇溝を築くに切石で 固くする事が出來ねとすれば一策は可けない、此の道路を經費の都合で廣くする事が出來ねとすれば一策として自動車の往還路とせず片道通行なれば二間の路面があれば自動車が通られる

△此處へ乘合自動車を運轉

して三十分置き位に出して公園地內に於ける乘降を自由にすれば自動車賃の如きも案外廉くなるだらうと思ふ、又

▽中廻遊道路 卽ち步道であるが步道を作る場合にも成るべく將來自動車道と改める事の出來るやうにして置きたいものである、公園內の道幅を一定したりするのは單調に陷るばかりで益の無いものである嚴があつたり道を通ずるに困難な箇所があれば其處を避けて廻り道をしてもいゝし棧道を造つてもいゝ

▽三百餘町步 もある公園の事であるから各局部に特長を有たせる事が必要である。それには櫻、紅葉などを盛んに植ゑるがいゝ、それも櫻とか紅葉とかに固めて終はずに各七分三分位に植ゑて置くといゝと思ふ、老人亭から奬忠壇にかけて一帶につゝじを植ゑて滿山花で埋め路傍には山吹、木瓜などを栽ゑる、大體先づ以上の通りであるが元來

▽公園の設計 は美術と同じで何人からも非難を受けないといふわけには可かれ、何處からも非難されないやうな公園は眞に價値ある公園とは言へない、そこで案が出來たらそれによつて迷はずに實行に取り懸る事が必要である、昔伊太利の畵家が自己の描いた畵を市中に貼り出して弘く世人の

▽補正修飾を 請ひ完全な畵にしようと試みた所却つて多數の人の意のまゝに變改されて滅茶々々にされて終つたといふ話があるが餘り迷つては可けない、然かしながら私は公園の實際の設計にかゝる前に土地の人の公園に對する注文は大に聽いて參考に資したいと思つてゐる、尚ほ終りに一言述べて置きたい事は總督府の移轉が

▽近き將來に 行はれる今日本町繁榮策の一つとして同町の有力な實業家連が南山公園に對して十分の盡力をせられたき事である

●二重橋外、軍を臠はす 御愛馬ダツブ初東風に嘶く

天皇陛下には豫て仰出されたる如く八日陸軍始に付午前十時大元帥の御正裝に大勳位菊花頸飾並に金鵄勳章功一級大綬御佩用の上御愛馬ダツブに乘御閑院大將宮朝香大尉宮兩殿下を初め波多野宮相內山侍從武官長戶田式部長官等供奉の上宮城御出門二重橋下假玉座に著御先著の寺內首相奧川村兩元帥上原參謀總長一戶敎育總監松川諸兵指揮官以下幕僚又各國大公使館附武官等の奉迎を受けさせられ御少憩後松川指揮官の奏上に依り同指揮官の御先導にて閑院大將宮殿下を初め奉り各員扈從の上二重橋下より坂下門外に整列せる久邇少將宮御統率の近衛第一聯隊より第二、第三、第四、聯隊續いて近衛工兵、近衛砲兵、近衛騎兵其他の各部隊を順次御親閱松川指揮官より各部隊前にて其隊號と團隊長の官氏名とを奏上し各部隊は 陛下の御親閱中順次君ケ代を吹奏し捧銃敬禮を行ひ斯くて 陛下には同五十分全部御親閱を終へ玉座に復御次で 陛下には玉座前にて御愛馬に召させられ近衛步兵第一聯隊を先頭にせる各部隊の分列式を御覽遊ばされ十一時四十分分列式を終へ 陛下には參列各部隊陪觀將校等數萬人の奉送中に御機嫌麗はしく宮城に還御茲に目出度陸軍始觀兵式を結了せり(東京特電)

●軍艦千代田の坐礁 大風雪のため門司港外にて

七日以來關門地方は大暴風雪にて八日關門、關釜兩聯絡も杜絕せる際恰も軍艦千代田は同日午前五時門司港外金伏燈臺の暗礁に坐洲せるより門司港務部にては直に水上警察署及び海事協會等の汽艇に山科商會の潛水夫を多數乘込しめ山なす怒濤を冒して現場に急行せるが同八時廿五分に至り同艦は自力にて離洲するを得たりされど機關室より艦首に至る間に三個の浸水箇所を生じたるを以て門司港務部にては更に潛水機二個及び排水喞筒船を送り同艦をして一先づ部崎に避難せしむる事に決し一方吳に打電して救助船の來航を待つ事とせり損害は未だ判明せず(門司特電)

●貰つた罪 長崎縣長崎市大浦東山町一二四平民當時平南安州郡新安州三浦末吉方石田いし(三)は一昨年三月頃平壤大和町某吳服店番頭小川政之助と情を通じ同人が主家より持出したるセル反物一反價格六圓のものを半額にて買取り四月政之助より白縮緬一反友仙縮緬一反を同月紹縮緬一反價格十八圓のものを何れも半値にて同月二十日浴衣一反を同人より貰受けたる事此程に至り發覺し平壤署にて取調の上一件記錄を一月六日平壤地方檢事局に送られたり

●海中で凍死 咸南咸興郡西湖面鵲島里林時龍(四三)は同里林昌洙(三五)金仁洙(三八)の兩名と共に所有の日本形漁船(七十石積)に乘組十二月廿日午前一時頃洪原郡甫青面三湖にて明太魚三駄(二十七圓)を積み込み西湖津に向け航行中同面茂桂里岬の沖合にて風波の爲め難破し林昌洙金仁洙の兩名は檣に身體を縛りつけて漂流しつゝ救ひを求めし爲め遂に茂桂里香椎漁場の裏手に漂著し居るを香椎漁場漁夫取締古川淸太郎が歸宅の途次發見して將に凍死せんとする前記の兩名を救助したるが船主林時龍は遂に水中にて凍死し死體は茂桂里海岸に漂著したりと

●衝突して氣絕 舊臘三十日午後零時五十分頃京城郵便局監視伊地知幸吉(四〇)は郵便事務監視の爲め自轉車にて本町五丁目十一番地朝鮮人俥帳場前にて通行人を避けんとして同帳場の柱に衝突し後頭部を強打して轉倒し人事不省に陷り居るを本町警察署新町派出所詰の石川巡查が驅付け人工呼吸を施して蘇生せしめたるも言語を發する能はず最寄りなる淺川醫院に擔ぎ込み應急手當を加へ目下加療中なるが生命に異狀なかるべしと

●水道工夫晝夜の大活動 嚴寒のため日々故障四百件に達す

本月四日以來の嚴寒は近年稀なることゝて市內水道栓の故障は夥しき數に上り日々二百件以上四百件に達しつゝあるが故障の多くは栓の閉鎖不完全なるに基因し之れが爲め通水不能となり或は鐵管の破裂を來す等其の故障頻出せるより水道工夫五十名は人夫百名を使役し晝夜兼行を以て大活動を開始し既に其の幾部分の工事を了せるも何分嚴寒の事とて工事意の如く進捗せず左れど今後引續き寒氣現下の如くならざれば遲も三日中には全部の工事完了を告ぐる豫定なりと

一事船井修一郎(三六)は昨年十一月六日平壤壽町長谷川善次郎方雇人 [illegible] 院にて懲役一年六箇月の處分となれり

◎瓦斯中毒 平壤陸路里相澤城吉(五 [illegible])同人內緣の妻金姓女(三七)の兩人は [illegible] 藥劑師と共に現場に急行應急手當を施し漸く蘇生せしめたり

●幼兒の壓殺 慶北醴泉郡龍門面山城洞丁錫鎭(三三)の內緣の妻崔九山(三七)は其幼兒が脂瘡症にて身體虛弱足手纒ひとなるより生後三箇月目なる昨年十一月二十七日夫の不在中壓殺したるを丁錫鎭及び弟丁鶴鎭(二八)の兩名は情を知り其の屍體を同里の南山と稱する他人の所有山地に密葬したることを醴泉憲兵分隊に於て探知し前記三名は十二月二十七日同分隊に引致されたり

懸賞讀者文藝募集

左の課題規定に依り懸賞讀者文藝を募集します奮て應募あらん事を希望します賞品は一等に五十錢の本社代理部書籍券を呈します

■課題

△俳諧『冬行』	締切十五日	發表十六日
△川柳『餅』	同 十六日	同 十七日
△物は付『無くてもよいものは』	同 十七日	同 十八日
△謎『炭俵とかけて』	同 十八日	同 十九日
△一口噺『其時々の事に就て』	同 十九日	同 二十日
△下句付『大あくび』	同 二十日	同 廿一日

△俗謠は追て出題

■募集規程 ▲用紙は端書又は同形の洋紙一枚毎に紙上の雅號又は匿名の外に住所氏名を明記の事▲締切は一週間後▲投稿の發表後一週間以內に到着し又は同案の先著者には五十枚の書籍券を呈す(但し何枚何號と明記に限る)▲宛名は京城日報編輯局讀者文藝係

●烈風中の船火事 仁川慶田組所有の風帆船川內丸は七日午後十時四十五分より八日午前四時三十分迄仁川港內稅關棧橋傍に於て火災を起し全燒したり原因は目下取調べ中なるが同日は北西風吹いて折馳せつけたる警察署員及び消防隊は奈何ともし難く傍觀しつゝ有りしが火の手は前後五時間烈風に吹き捲られつゝ五十餘噸の船體を舐め盡したり損害は約千五百圓(仁川)

◎火事 ▲焚火から 四日午前零時北京城寬勳洞六率鋪奉方より發火せしも常備消防出動直ちに消止む同家は二日迄に新築し之が乾燥の爲め焚火を續けたるも過熱なりしより發火したるなりと温突一間燒燬せしのみなり

▲温突火事 三日午後五時十分頃京城 [illegible] 洞百七十五番地 [illegible] 方より出火し [illegible] 一棟(三間)を燒失して [illegible] 鎭火せり [illegible] 温突に焚火中火が [illegible] に燃上りたるものなりと

▲義州通の火事 一日午前一時十一分京城義州通二丁目百九十八大工職森田俊市方より出火し本町警察署員常備及び義勇の兩消防隊驅付け消防したるが同所は森田方が初め [illegible] の四戶居住の朝鮮式温突建の長屋一棟瓦葺十三間なるが四戶共居宅及び家財全部を燒失し同三十五分鎭火し人畜には死傷なかりしと損害約六百圓の見込なり尚同夜森田の妻かつ(三五)が吊洋燈に點火したる儘就寢したるに前記の時刻頃過火となりて油罐が破裂し遂に大事に及びたるものなりと

□稀らしい寒さ 九日から温くなる

平田仁川觀測所長の談に依れば七日來日本海に於ける氣壓低下したるに反し支那方面の氣壓頗る高度を示し此れが爲め北西の風吹き荒み氣温頓に下降し八日午前六時の如きは京城零下二十度四分仁川十九度六分昨年に比較し約十五度低下したり各地の温度は中江鎭零下二十四度二分龍岩浦同二十三度八分平壤同二十一度三分木浦同八度にして浦津雄基地方は京仁地方と同温度なりし風速は木浦三十一米突仁川二十五米突元山二十米突沿岸地方三十米突に及びたり今後の天候は八日に至り大體の模樣替りて蒙古及びシベリヤ方面の高氣壓主部は漸次低下して支那中部に發達したるを以て此の狀態を繼續せば九日以後は氣温上る可し八日午前中は東海岸は烈風吹き荒び居るも西海岸は凪ぎたるものゝ如し(仁川支局)

▲鐵道局では今回初めて朝鮮人判任官の現業員を採用した▲其の書記は張鳳儀と云ひ京義線水色驛の助役さんである此人は今まで日給一圓の雇員だつたが成績もよく責任觀念なども內地人以上に強いとの事▲麻浦行の第六十一號が八日の朝立往生をしたのを手初に電車の立往生がしば〱ある寒いからだ▲本多林學博士の秘藏弟子の田村林學士は京城の公園視察のために滯京中だが二三日に平壤へ行き歸途釜山で龍頭山公園の設計をするさうだ

雜誌界の權威 新年號の偉觀

太陽

■擧國一致の外政策……法學博士 浮田和民
▽正貨と我財政經濟 神戶博士 ▼事業界一夕話 團 琢磨
■講和平、恒久戰平……淺田江村
▽工業化學教育 井上博士 ▼最近の波蘭獨立問題 大庭柯公
■戰時歐米產業界の活動……農商務書記官 鶴田左右雄
▼戀愛の破產時代 [illegible]……內田魯庵
▼漱石先生と門下……森田草平
▼心頭雜草(婦人界評論) 與謝野晶子
▼西洋畫の傳來起源 文學博士 新村出
▼蛇に關する民俗と傳說……南方熊楠

新年大附錄
乾いた心(小說) 正宗白鳥
歌さんの幻影(小說) 中村星湖
生きむとすれば(戲曲二幕) 長田秀雄
反魂香(小說) 森田草平
失はれた原稿(小說) 中村星湖
蕈(小說) 德田秋聲

■一九一七年の國際經濟……法學博士 堀江歸一
▽列強海軍とド級艦 安井滄溟 ▼歐洲戰局の推移 佩 韋 齋
■財政時事(一、財界の現狀と趨勢……若槻禮次郎 二、三、物價問題……高橋是清)
▽羅國の敗退と戰局の前途を論じて講和提議に及ぶ…某陸軍將軍
■政界の表裏(內大臣問題=新大臣月旦)…無名隱士夜話
本號(特別增大)に限り定價金五十五錢 郵稅五厘

生活

特別記事
實行し得る新生活法
(一)二重生活と新經濟生活…加藤博士
(二)息子娘の結婚…某權門官
(三)家族よりは其家の主人…福澤桃介
(四)招く席と招かれる席…新渡戶博士
(五)強健劑としての郡食物…高楠二二
(六)お手輕の別莊…杉村楚人冠
(七)收入が減じた場合…日向きん子
■競つて來た玩具…黑田淸輝
▽心理學から見た『さゝ機嫌』
▽百年後の東京市街
■政治小說黑影(第一回)無名氏
▽冷水を多量に飲む功德
▽喜劇『能率增進』
■戰後日本の生活狀態…堀江博士

新年附錄―(寫眞入)―
■本願寺一門の女性 讀花翁
■六代目菊五郎が生れた時 冬背樞
■二菱兩家の主人 寒江學人
■三百萬の身代を潰した女 鴨野村
■酒飲む時の小說家 ABC

本號(特別增大)に限り定價金三十錢 郵稅二錢五厘
東京本町 博文館 賣捌 全國各地書店

嗣子銳一義永々病氣の處養生不相叶本日午前五時死去致候間此段謹告仕候也
追て葬儀は途中行列を廢し來る十日午後四時半南山本願寺に於て執行仕候尚ほ乍勝手生花放鳥等御寄贈御斷申上候
大正六年一月八日
父 和田常市
親戚總代 芦刈清次 芦刈新太郎
友人總代 海浦篤彌 山口太兵衛 淵上貞助 關繁太郎

京日案內

普通 一回前金五十錢 番外 一回前金一圓
▲申込後中途掲載中止の節は料金返戾せず

普通

◎金融 月收の方に極秘信用便宜立替御報伺又は來談 本町電車終點 質屋 大和屋 20

有給外務社員採用 希望者履歷書携帶來社あれ 吉野町二の九三坂通巡查派出所前 大日本新聞社滿鮮支社 18

◎寫眞入門生 普通教育を受け十七八歲求む 武橋町 菊田寫眞館 電話一八三番 19

出資者 確實有利なる現在經營中の事業壹千圓以上補助乞ふ至急面談望む(姓名在社) 25

配達人至急募集 希望者は明治町二丁目町田新聞部に來談あれ確實なる保證人を要す 仁川本町 町田新聞部 23

筆耕を要す 希望者至急來談あれ 長橋町六五(太平生命前小路を入る) 今枝悅男 21

▲女書生入用 但十七歲より廿五歲迄 希望の方は直接來談あれ 京城本町三の九 中村齒科醫院 14

◎被雇度 醫學生多年經驗あり市內地方不問 病醫院へ(給不望)(姓名在社) 10

番外

年金 恩給低利 特別長期 即時 全額立替極秘 京城永樂町一丁目 16

▲併金錢 商品陳列館表門前下角 江州屋本店

◎低利商人官吏へ金融極秘信用便宜立替 御報伺又は御來談 京城旭町二丁目六番地 東京旅館裏 江崎 27

解雇 店員 松岡良平 右者今般解雇致候間今後當店に一切關係無之候 京城本町一丁目 大和軒 22

▲記者採用 男女 志望者は自筆履歷書携帶本人來談あれ 朝鮮公論社 28

◎朝鮮語科 新學期 三ヶ月修業 ◎英語科 各級補缺募集 南大門通漢城銀行向ひ 京城青年會 12

富山縣人士に告ぐ 在鮮富山縣同鄉倶樂部芳名簿作製す至急入會を乞ふ締切は本月十五日 普通入會金四十錢也 申込所 旭町淺野樂天堂 電話千四百番 15

◎京城春川間自動車賃金片道四圓 京城春川間毎日午前八時卅分出發 ◎南大門通一丁目 廣橋自働車組 電話二一九番 主務 金正淵 4

再診療開始 患者各位の希望に依り六日より約一ヶ月間再診療開始す 京城長谷川町東病院內 肛門病注射專門醫院 9

怒濤の月　四十三

小林蹴月作　武内桂舟畫

煽動『九』の一

『は、はあ、然う云ふもんですかね私們は全くの門外漢ですから、畫をお描きになる先生方のお心持などは毫しも解りかねるんですが、すると何ですか、その落選の畫と云ふのは金錢の如何に拘はらず、他人の手へはお讓りにならないんですか』

ナイフとホークとを、がちゃんと皿の端へ置きながらの松崎兼吉は、出來るだけ相手の機嫌を損ねまいと努むるやうな調子で、斯う訊ねた。相手とは、群雪の倉橋幸三郎である。場所は、神樂坂上の西洋料理の三階の一室。主人の内意を受け込んで來た松崎が、畫の注文に事寄せて初對面の幸三郎を、巧みに此處へ引張り出して來たものとは、誰にでも推測の出來得る話である。

『御厚意は難有いですが、僕の性質として、既に一旦落選の恥辱を被つた作品を、怎麼に金が欲しいからと云つて、他人の鑑賞物として、差上げる譯にはゆきませんからね』

幸三郎は、只さへも氣分の勝れぬ所へ持つて來て、髪は伸び次第、髯は生え放題の甚だ冴ね冴ねしからぬ顔色を爲て居る上に、松崎の恰悧げなる口の利き方が、何となく胸糞わるく感じて居る加減か、挨拶の仕やうまでが、一向に捗々しからぬのであつた。

『けれどもですね、先生、先刻もお話致した通り、手前の主人が、昨年日光で先生にお目に萸つた時の事から懷ひ起して是非共その華嚴の瀑布のお作を、頂戴致したいと、斯樣に申すので御座いますから………其處を枉げて何とか、御承知を願ひたいんで御座いますがね』

『何と被仰つても駄目です』と幸三郎は、眼前のコップを把り上げて、ビーヤの泡だけを輕く啜つて『實はまだ何人にも話は爲ませんが、その華嚴の瀑布の畫は、疾の昔に引破つて捨てゝ了つたんですから』

『わッ、そりや先生、實際のお話ですかね。折角二年もかゝつて、お描きになつた大作を、破つて捨てゝお了ひになるなんて、何だか、本統には思はれないやうですが………』

『いや、本統に引破つて了つたんです。不徹底な愚作を世間に晒して置くのは、自分一人の不愉快ばかりでなく、見る人々の眼を徒らに穢さしむる丈のことですからね』

『本當だと被仰れば、是以て致し方もない譯ですが、それでは先生、近々の内に、何か一枚新規の畫をお描き下さる事は出來ますまいか。お禮と申しては、失禮かも知れませんが先生の仰せ下さる通りに差出します』で御座いますが………左もない事には、私が主人方へ蹴りましても、報告の致しやうが御座いませんので御座いますから………』

胸に一物ある松崎は、何とかして利益を餌に幸三郎の歡心を買はうと爲るのであつた。

『それも先づお引受けは出來かねますね』

『そりや又、何故で御座いませう』

『別に改まつた理由もないんですが當分の所、畫の描けさうな頭腦にはなりかねるもんですからね』

『へイ、頭腦でお描きにならんでも筆でお描きになつたら………』

冗戯のやうに、松崎は、斯う言ひかけたもの丶、その實此の人の口からこんな事を言ふのは、例の細代の事件が、祟りを爲して居るのではあるまいかと思つた。

『筆で描いても手で描いても、描かうと言ふ氣分にならないんだから、無駄です。時に、松崎さんとやら、初めてお目に萸つた貴方に、こんな御迷惑を懸けて、濟まんかつたですが、もう充分ですから、失禮します』

『御主人に何卒よろしく………』

幸三郎は、早や椅子を離れて、蹴りかゝつたのである。

『まあ〳〵、先生、畫の事はお描き下さらんければ下されんで、已むを得ませんが、實はそれ以外に、も少し先生に御相談を願ひたい事がありますんで、もう暫時の所をお交際下さい』

『畫の事以外にお話のあらう筈はないぢやありませんか。初對面の貴方から何も………』

『所が大有りなんで御座います。お暇は取らせませんから、私を助けると思召して、いま暫時』と、松崎は例のお繊茶羅主義で、鑑理無體に引止める。

京城府永樂町一(商品陳列館通坂の上)
花柳病 皮膚病　須古醫院　電話二一〇二番

院長 醫學士 森定吉
□□内科 小兒科　芙蓉醫院
京城本町三丁目 瓦斯會社向側　電話二六三番

俳諧散心(第十八回)(一)

○小春

婚禮の興や日除けの傘小春　容堂
錆釜を黑く塗り居る小春哉　同
小春日や谷の家への郵便夫　耕伯
小春日や壺屋が叩く壺の音　同
新漬の石利いてあり小六月　夢骨
小春日や覗けば動く壜の魚　同
盲鵰が臼礪く音や小六月　田打夫
窓入る日深々となりぬ小六月　同
小春日や畑を犯さず浪白し　東村
人輪作りて安物買や辻小春　北星
鑵の油氣拔くと蠹焚く小六月　浩一郎
陰干の藥草や離村小春風ぐ　嵩亭

○冬の蠅

天井に何の神府や冬の蠅　青丘
冬の蠅工夫群れ居る村の酒家　同
冬の蠅晝の間開けろ豌かな　山民
蒲團敷て殘る座多し冬の蠅　北星
冬の蠅道へざ空しき廣さ哉　沛子
冬の蠅屋根に干す見布の日反り見る　嵩亭
韮喰みし人と坐りぬ冬の蠅　雨芒
冬の蠅と病餘の我と山茶花に　浩一郎

(第三十六回俳句)水原華城會

主評 肥後不識庵百鎚宗匠

秀逸

水涸れて橋のみ高し冬の月　如竹
島守に或夜謡あり鳴千鳥　五曉
落葉して塞かる寺の小路かな　同人
思靈の雨戸を叩く落葉かな　同人
廢殘の鐘樓聲ねて冬の月　寳石
炬燵して我身世に古る思ひ哉　五曉
寄る波や友呼ぶ千鳥月に鳴く　玉水
風すれて臼を埋めたる落葉哉　仙骨
朝顔の種子に名を書く炬燵かな　昇仙
山寺の草の戸白し冬の月　宙外
騎嘶の光る劍や冬の月　寳石
枯野から一羽立ち鳥やもめ鳥　雖川
過ぎし世の手柄咄を置炬燵　之盛
朝風の浦に鵯ふ群千鳥　松園
本意ならず睦叛に十年落葉掻　蕉雨
暮を撞く鐘や落葉の一頻り　五曉
戀すてゝ我名の洩れし炬燵かな　仙骨
夕映の雫啞しみつ鳴千鳥　昇仙
寒月や橋の上行く下駄の音　同人

五客

水の音に霜月落ちて鳴千鳥　鐘石
山門に剝げた仁王や積落葉　昇仙
落葉踏んで下山の僧は無言也　閑人
歸帆待つ夕を濱に鳴千鳥　同人
澄む空の梢に高し冬の月　華園

三光

人　島の巣を一つ殘して落葉哉　一山
地　痩薑のびーひよろ〳〵と枯野哉　仙骨
天　闇として鞘走けたり冬の月　五鴫

軸　村端の大時雨や冬の月　選者

新刊紹介

▲名犬物語(加藤朝鳥譯) 彼の有名なる探偵小說家カノンドイルの作に際逃せしものにしてデボンシア沼澤地方の豪族バスカビア家の祖ユゴオ附近地主の娘に非業の最後を遂ぐ爾來バスカビア家には妖犬の祟りありとて靈寧せんとして却て妖犬の爲に斃れ之れを醒ふ神秘的傳說ある故を奇貨とし博物學者の假面を被れるステプルトンが同家財産を企て犬を使嗾して當主ヘンリを殺害せしも住民は此怪死を單に傳說に基く神秘的怪死とのみ信じて徒らに畏怖し居るを彼の探偵の靈腕シャロツクホルムスが苦辛の結果眞相を看破し事實の前に神秘なき事を除くと云ふ筋、譯文平明に缺き隔離なく面白く讀まる(九十五錢東京市牛込區神樂町二の廿二天弦堂書房)

▲婦人畫報(新年臨時生活號) 文學、美術、香餐、園藝、生花、點茶、盆景、盆石、衣裳、寫眞物寫眞と實際記事と相俟つて頗る巧に編輯されたり而して本號よりは現今小說家の豕斗猶龍岡芳氏の新作『須磨子』なる長篇を連載すべく郭誓に據へる藝術婦人の波瀾多き哀史は讀者をして或は憤らしめ或は泣かしむべし附錄には池田蕉方、石川寅治兩畫伯の二頁大美人畫及び岡田八千代、松村みね子兩女史の小說及び脚本を添へたれば一卷の趣味書として見るも可なり(五十錢東京市京橋區銀座町東京社)

▲鎌倉武士と禪(鷲尾順敬著) 我邦の佛教の文化史的研究に依り國民の思想傾向の一面を叙述せんとしたるものにして第一章武士の發起と時代の新氣運に筆を起し第三章禪に入り以下第九章迄の間に於て榮西と道元、國師と蘭溪、北條時賴、日宋禪僧の往來、北條時宗、子元等を論じ第十章に至りて筆を止む引證該博所論明快小册子と雖當時の武士道と禪との關係に就て論じ盡して餘蘊なきに庶幾し(八十錢東京市小石川區表町一〇九日本學術普及會)

▲家庭のローマ字(新年號) 向軍治、巖谷小波其他の執筆に係るお伽噺子供讀物等を平易にローマ讀りにて記したり(特價七錢東京市麴町區平河町一の三ローマ字ヒロメ會)

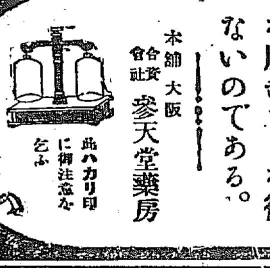
▲勝友(新年號) 吉村立游の笑ふ門には福來る村上朝明の寶探し、廣な越綠の吉祿の朝に大町桂水の歲頭の辭等(五錢京城本町三の五○淨土宗青年會本部)

▲講談倶樂部(臨時增刊) 講談雜誌の鼻祖にして文花形なる同誌は内容の充實體裁の整頓、眞に斯種雜誌の覇王たるに恥ぢず即ち塚原澁柿園氏の『新説第一番』寺瀨琴風氏の『山口雖女』大河内翠山氏の『女流玄』匿名氏子の『新眞我精進』等の長篇傑作を初とし響庭氏の『蛇供養』宣村西男氏の『四本柱』伊藤痴子の『初漁海』高橋天城氏の『哀の春』流浪雨氏の『宋來記』山田みのる氏の『蝦一代記』等新講談、歷史小說、落語、浪花節、浮盤一讀整を捲ふに堪へざらしむ(三十八錢東京本鄕區駒込坂下町四八講談社)

▲財政經濟時報(新年號) 金融調節は景氣持續の要點『不多博士』帝國財政の過去と現在『同』石炭消費の節約と利用『加茂博士』製鐵國としての日本『梅場博士』藥用植物の栽培と農村の副業『日井博士』等の外財界近情、當面政局、時局と商品調査大觀小觀等努例此種雜誌中の雄(二十七錢東京市京橋區尾張町一の一共社)

▲世界公論(新年號) 國民は如斯自覺を要す『武田錫太郎』銀行と新舊兩主義『尾崎敬義』字の眼たる滿鐵の改選『安藤三郎』東俄基金殿北論『中島忠利』孫民省設置の由所『沼崎彦治』等の外都著生活ローマンス、新らしい女總まくり、社會の風聞案例等(十七錢東京市小石川區大塚辻町二四世界公論社)

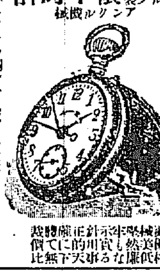
東京で一番よく賣れる美人となる化粧料
ホーカー液
お年玉の御進物に　アレを防ぐ高貴化粧料
朝の洗面後に、夕の入浴後に一滴づつ御用ひ下さい
□御參考□
■色を白く、きめを細かにし
■アレを防ぎ、色艶を好くし
■白粉下、トキ水によく
■子供衆の皮膚を丈夫にし
■生れつき色が白いやうに見せ
■紳士の鬚そり後に適す
定價　大瓶八十錢　中瓶四十錢　小瓶二十錢
送料　内地鮮滿無料
全國到る處の小間物化粧品藥店に販賣す若し品切の節は本舖宛直接振替又は三錢切手代用にて御注文を乞ふ
本舖　堀越嘉太郎商店
電話神田一四三一、一四四　東京神田和泉橋　振替東京一四五六



拙者は
かぜの神である、年中あらゆる人間の油斷をのみ覗ふてゐる、而も今は拙者の時候だから、ドシ〳〵肺炎や窒扶斯の種を蒔て苦しめてやる、其中酷く侮る奴は容赦なく殺して了ふ、然しハカリ印のヘブリン丸は拙者唯一の强敵である、拙者が如何に暴力を振ふても忽ち擊退されて了ふ。實にハカリ印のヘブリン丸には流石の拙者も兜を脫がざるを得ないのである。
本舖 大阪　合資會社 參天堂藥房
出ハカリ印に御注意なさい

下總國野田町
茂木七郎右衛門釀造
特約店
明治町一丁目
牧野商店
電話二五三番
最上醬油
〈キハク印〉
醬油の撰擇を誤るは年中の損
試み給へ關東唯一の絕品キハク醬油
釀造高全國に冠たり年額六萬二千石
最大の釀造高は最大の購買力に基けり
最大の購買力は品質優越の實證

贊化病院
京城本町二丁目　電話二四〇番
醫學博士 古城憲治
同 醫學士 上野亮藏
内科 小兒科 入院隨意
毎日五名を限り無料施療す

新荷著
スイス製 懷中時計
アンクル脱進機

價格低廉 機械優美 然も實用的に正確 天下無比

(ニッケル側)十八形(片蓋)		一圓九十錢
同	同	二圓五十錢
同	同	三
同	八日卷	九圓二十錢
同 十六形	同	六圓九十錢
同	同	四圓五十錢
同 ラジューム目盛付十六形	十七形	六圓二十錢
同	同	十二圓五十錢
同 十七形	同	十
(鐵側)ラジューム入十八形(兩蓋)		四圓五十錢
同	同	五
同	同	二圓五十錢
同 日曜付	同	七圓五十錢
同 十六形	同	八
(銀側)疑呼賓優美十二形(片蓋)		七
形別各色	同	五圓二十錢
同 十二形半	同	四圓
同 十七形	(兩蓋)	十
同 十六形	(兩蓋)	三
(金張)	(片蓋)	六
同	同	二十二
同(十年保險) 十八形	同	十八
同(十年保險) 十七形九金片蓋	同	五十五
(金側)		六十六
同	十八金	自百五十 至三百八十
疏行腕卷時計 十三形ニッケル	ラジューム入	四圓五十錢
同	同	七圓三十錢
同	(鐵側)	十
同 十四形	同	七
同 十三形	(銀側)	四圓三十錢
同 十四形	同	十二圓八十錢 十三圓九十錢

右は今回新著の商品にて本商會獨り之を有し他店に無き所のものに付して順はくば急速御用命被仰度候 尚地方遠隔の御注文に對しては代金引換小包郵便にて御送附申上候
時計、蓄音器、ミシン機械、自轉車、洋酒各國貴直輸入商
イングレッシー商會
本店 京城本町二丁目 電話九七二番

大邱浦項間自動車發着時間
上り 一番 二番
浦項發 前六、三〇 一、三〇
安康 七、五〇 二、五〇
慶州 八、三〇 三、二〇
同 九、一〇 四、〇〇
永川 九、二〇 四、二〇
河陽 一〇、三〇 五、二〇
大邱着 一一、三〇 六、三〇
下り 一番 二番
大邱發 前六、三〇 ...
河陽 ...
永川 ...
慶州 ...
安康 ...
浦項着 ...
沖合七時 電話二一七番
大塚農場自動車部
大邱出張所
電話二一七番

金泉醴泉間自動車發着時間
上り 一番 二番
金泉發 前八、三〇 一、三〇
開寧 九、三〇 二、三〇
尚州 一〇、三〇 三、二〇
咸昌 一一、三〇 ...
龍宮 ...
醴泉着 ...
下り 一番 二番
醴泉發 前八、〇〇 後一、〇〇
...
金泉着 ...
小荷物運搬仕り候
金泉織居自動車支部
金泉電話四八番

日本郵船仁川出帆
○大連行、秦皇島行
鎮口丸 一月十四日正午出帆
淡路丸 一月廿一日正午出帆
滾砂丸 一月三十一日正午出帆
仁川海岸町十一丁目 電話 堀回漕部

汽船釜山出帆廣告
○門司、神戸、大阪行
立神丸 一月　日後五時出帆
小倉丸 一月　日後五時出帆
○元山、清津、浦鹽行
立山丸 一月　日後十時出帆
小倉丸 一月　日後四時出帆
○元山、西湖、新浦、城津、清津行
第三琴平丸 一月　日後六時出帆
○門司、宇品、神戸、大阪行
第三琴平丸 一月　日後六時出帆
○佐須奈、嚴原、壹岐、博多行
天眞丸 毎月二日十六日廿六日(十四日)午後十時出帆
釜山港立所　本舖　大池回漕部

尼崎汽船仁川出帆
○群山、木浦、釜山、下關、神戸、大阪行
大有丸 一月　日後四時出帆
秀吉丸 一月　日後四時出帆
君か代丸 一月　日後四時出帆
神代丸 一月　日後四時出帆
仁川海岸通二丁目 電話五十九番 杉岡回漕部

大阪商船仁川出帆
○外航路の船は航路變更又は寄港地を除くことあり
○群山、木浦、釜山、馬山、神戸、大阪行
安東丸 一月十六日後五時出帆
安州丸 一月十二日後五時出帆
山陽丸 一月十八日
○木浦、釜山、原原、鎭の海、長崎行
信濃川丸 一月二十日正午出帆
信濃川丸 二月三日後二時出帆
○群山、釜山、木浦行
瀛洲丸 一月十五日後二時出帆
瀛州丸 一月二十八日
○大連行
信濃川丸 一月十六日正午出帆
信濃川丸 一月十六日後二時出帆
潮州丸 一月十一日正午出帆
福州丸 一月二十四日正午出帆
安東丸 一月　日正午出帆
○鎭南浦、清津行(元山出港)
印平丸 一月十四日後二時出帆
安平丸 一月二十日後一時出帆
宮島丸 一月　日
○木浦、釜山、門司、神戸、大阪行
大智丸 一月十日
天智丸 一月十一日正午二時出帆
○上海、基隆、打狗行(大連出帆)
北九 一月十一日前六時出帆
基隆丸 一月二十六日後四時出帆
御注意 ◎印は荷物のみ ◎積取切符發賣所
京城切符發賣所
大阪商船會社仁川支店 電話二〇五番
内國通運會社支店 電話七〇八番
◎中國四國沿岸各港船客に對し切符發賣仕候

阿波共同汽船仁川出帆
○芝罘、大連行
第一共同丸 一月十二日正午出帆
共同丸 一月　日
朝鮮鐵道主要驛にて荷客連絡取扱仕候
阿波共同汽船株式會社
本町四丁目(電話一七三番)
仁川代理店 野口商會
京城代理店 (電話二四〇七番) 田口回漕部
元山代理店 南大門(電話二六八・二〇七) 河村運送店
京城取次店

朝鮮郵船出帆
○全羅丸、京畿丸、黃海丸、成鏡丸 一月十五日、十一日、十日 元山各港寄港羅南方面航路 釜山發
○穩城丸、昌平丸、鏡城丸 一月八日 元山發
○昌平丸 元山より各港經由雄基行 一月　日 元山發
○盛德丸 一月　日 釜山發
○江陵丸、寶陽丸 一月　日 浦項發 釜山發
○三浦丸 一月　日 釜山發
○海州丸、統營丸 毎日 釜山發
○順天丸 三日目毎に 木浦發
○慶興丸 一月　日 木浦發
○慶興丸 一月　日 木浦發
○公州丸 一月　日 木浦發
○錦江丸 一月　日 仁川發
○江原丸 一月八日 仁川發
○麗水丸、晋州丸 一月十二日、八日 仁川發
○全州丸、南鮮丸 毎日午前 仁川發
本社 電話第一九五二番
總督府命令航路は本社及支店、出張所、代理店にて取扱申候
京城南大門驛前 松原運送店(電話一七〇二)
京城荷客取次店